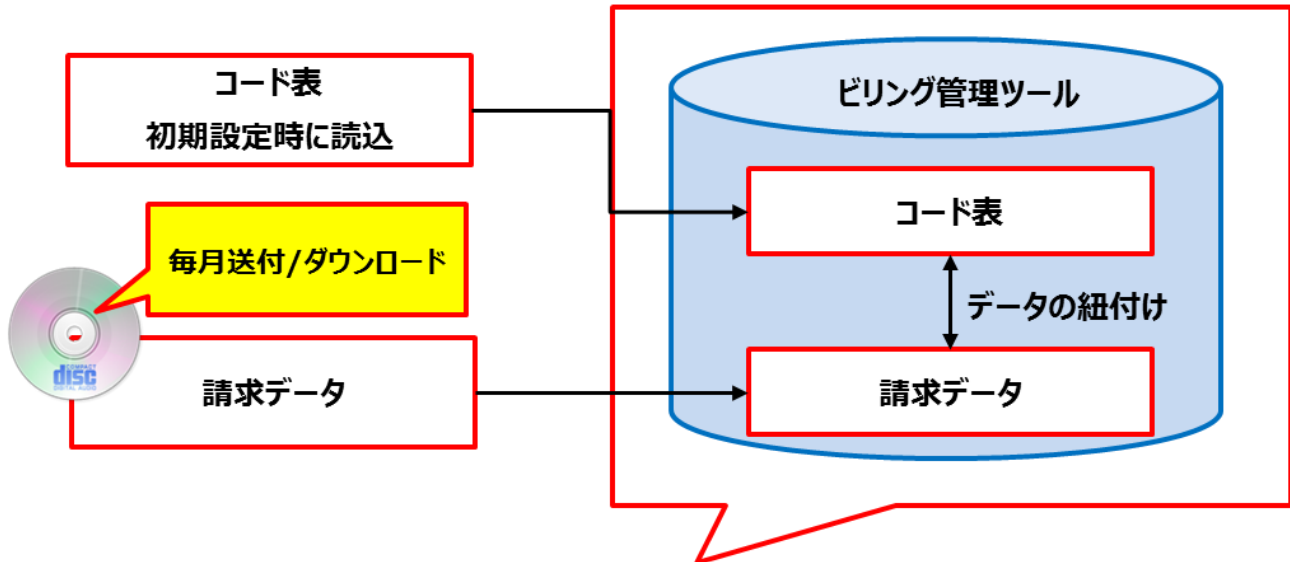


## IV ビリング管理ツールの主な機能

### 1. 請求データ読込、コード表の更新

本ツールをご使用にあたって、サービスと請求データの紐づけするコード表の読み込みが必要となります。

(参考) イメージ図



The screenshot shows the 'ビルディング管理ツール' (Billing Management Tool) interface. The main display area shows a table for '回線別ご利用料金' (Line-specific usage fees) for the month of 2013.09. Below this is a detailed breakdown of 'ご利用料金内訳' (Usage fee breakdown) and '通話明細内訳' (Call detail breakdown).

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			2,622	2,622

請求年月	税区分	2013.09
NTT地域会社		2,622
【NTT東日本ご利用分】		2,591
回線使用料 (基本料)	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	-100
室内配線使用料	合算	60
ダイヤル通話料	合算	8
(内訳) エリアプラス適用分	合算	(3)
消費税相当額	消費税相当額 (合算)	123
【NTT3iネットワークスご利用分】		31
ダイヤル通話料	合算	30
消費税相当額	消費税相当額 (合算)	1

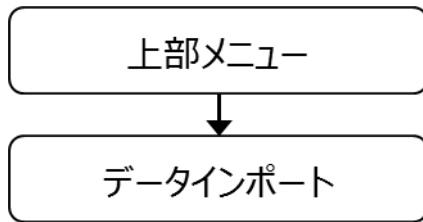
  

通話明細内訳
NTT地域会社
NTTコミュニケーションズ
NTTドコモ

本項目ではコード表を新規に取込む方法について記載いたします。

※一度取込みを実施していただければ次回以降は自動でコード表は更新されます。

請求データの読込、およびコード表の更新は、「各種データ読み込み」画面にて実施します。



(1) 請求データの読込する場合

各種データ読み込み画面の上段の「◆データ読み込み」機能によって請求データを読み込みます。  
本手順の詳細は、**IV章 1-1 節 請求データの読込**を参照してください。

(2) コード表の更新する場合

各種データ読み込み画面の下段の「◆コード表更新」機能によって最新コード表を読み込みます。  
ただし、インターネット接続の無い PC 環境のユーザは、上段の「◆データ読み込み」機能を使います。  
本手順の詳細は、**IV章 1-2 節 コード表の更新**を参照してください。

(3) 総請求画面に戻る場合

各種データ読み込み画面の下の「ホーム画面に戻る」ボタンをクリックします。

## 1-1 請求データの読込

請求データの読込手順について説明します。

読込可能な対象のコード表ファイルについては、後述の **1-3 節 読込対象データ一覧** を参照してください。

本ツールでは以下の 2 通りの読込方法が可能です。

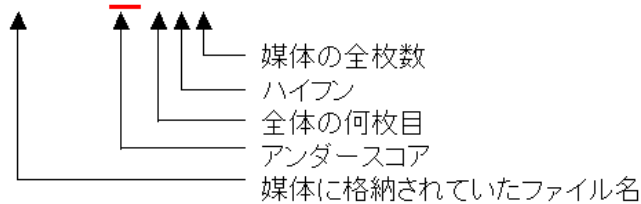
読込方法	説明
個別読込	任意のフォルダに請求データを保存し、該当フォルダを指定して読込む方法です。詳細は後述の「(1) 個別読込方法による請求データ読込手順」を参照してください。
一括読込	任意の複数のフォルダ配下に請求データを保存し、一括して読込む方法です。詳細は後述の「(2) 一括読込方法による請求データ読込手順」を参照してください。

個別読込、一括読込共に、請求データ読込前に、必ず次の確認してください。

### 【重要】事前確認事項 - 同一請求データが複数ファイルに分割されている場合

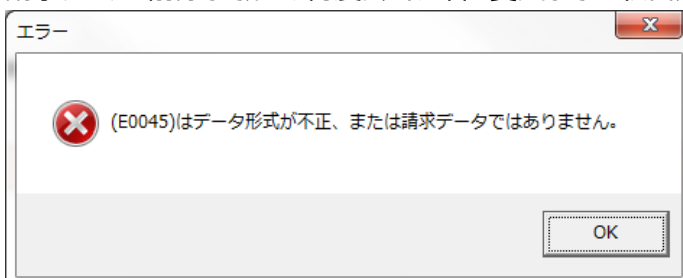
本ツールへの読み込む請求データの中に、提供媒体の容量制限により、同一請求データが複数のファイルに分割されている場合、以下の通りにファイル名称を変更する必要があります。

ファイル名 **N-M** ※すべて半角



上記対応を実施しなかった場合、2枚目以降の分割ファイルを読込んだ時に、請求データ読込ができません。

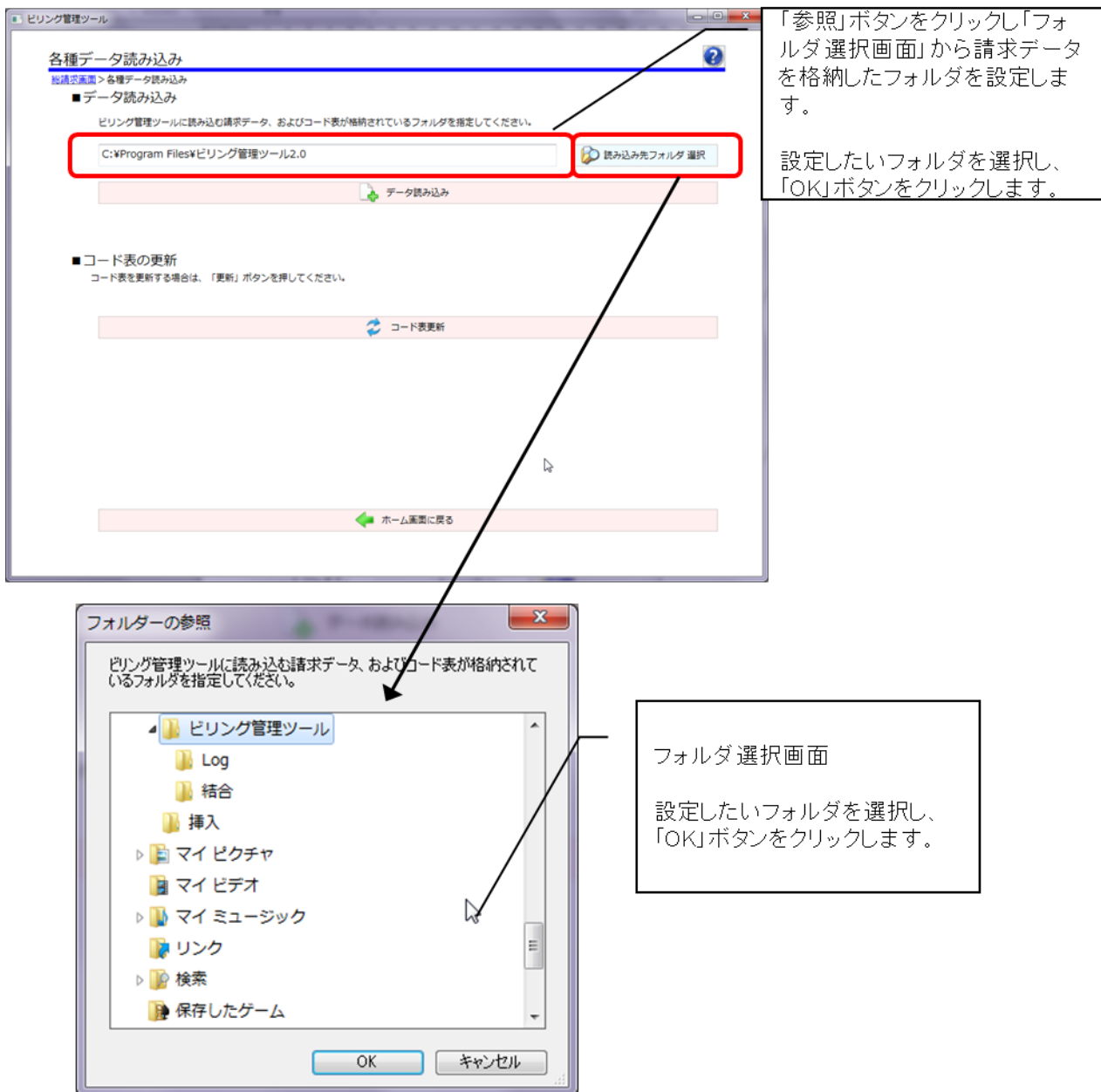
以下のエラーメッセージが表示されます。この場合、**V章 1 節 月別データ削除** 機能を使って、当該月の全ての部課・請求データを削除してから、再度ファイル名を変更して 1 枚目から読み直してください。



## (1) 個別読込方法による請求データ読込手順

任意のフォルダに請求データを保存し、該当フォルダを指定して読込む方法です。手順は次の通りです。

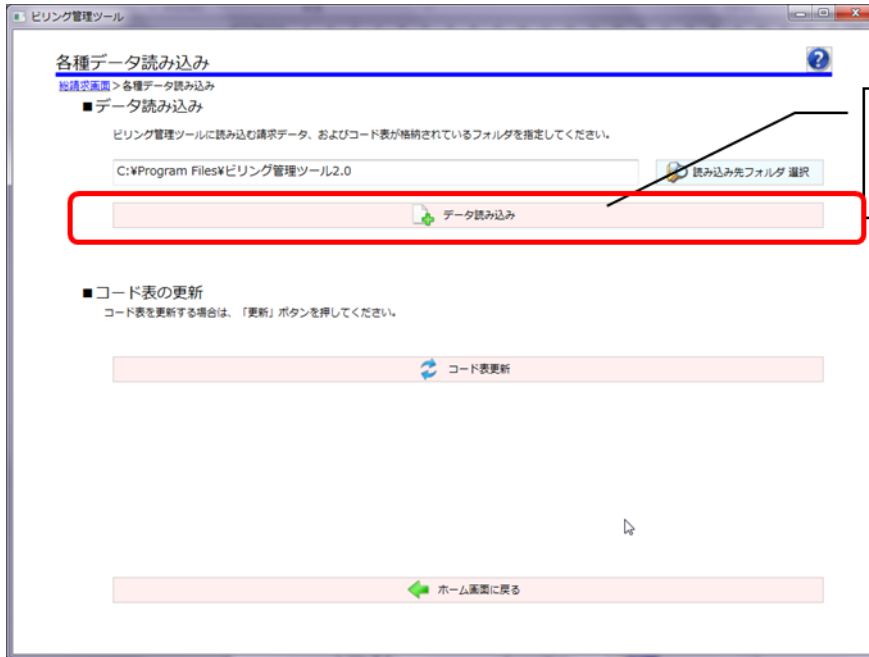
- ① 読込する請求データを任意のフォルダに保存します。
- ② 各種データ読み込み画面にて「読み込み先フォルダ選択」ボタンをクリックし、フォルダ選択参照画面を使って請求データを保存したフォルダを設定します。



The image shows two screenshots from the 'Billing Management Tool' software. The top screenshot is the '各種データ読み込み' (Load Various Data) screen. It has a section for 'データ読み込み' (Data Loading) with a text box containing 'C:\Program Files\Billing Management Tool 2.0' and a button labeled '読み込み先フォルダ 選択' (Select Load Destination Folder). Below this are buttons for 'データ読み込み' (Data Loading), 'コード表更新' (Update Code Table), and 'ホーム画面に戻る' (Return to Home Screen). A callout box on the right explains that clicking the '参照' (Reference) button leads to a folder selection screen to set the folder for saving request data.

The bottom screenshot is the 'フォルダの参照' (Folder Reference) dialog box. It displays a tree view of folders, with 'Billing Management Tool' selected. Other folders include Log, 結合 (Combination), 挿入 (Insert), マイピクチャ (My Pictures), マイビデオ (My Videos), マイミュージック (My Music), リンク (Links), 検索 (Search), and 保存したゲーム (Saved Games). Callout boxes explain that this is the folder selection screen and that the user should select the desired folder and click 'OK'.

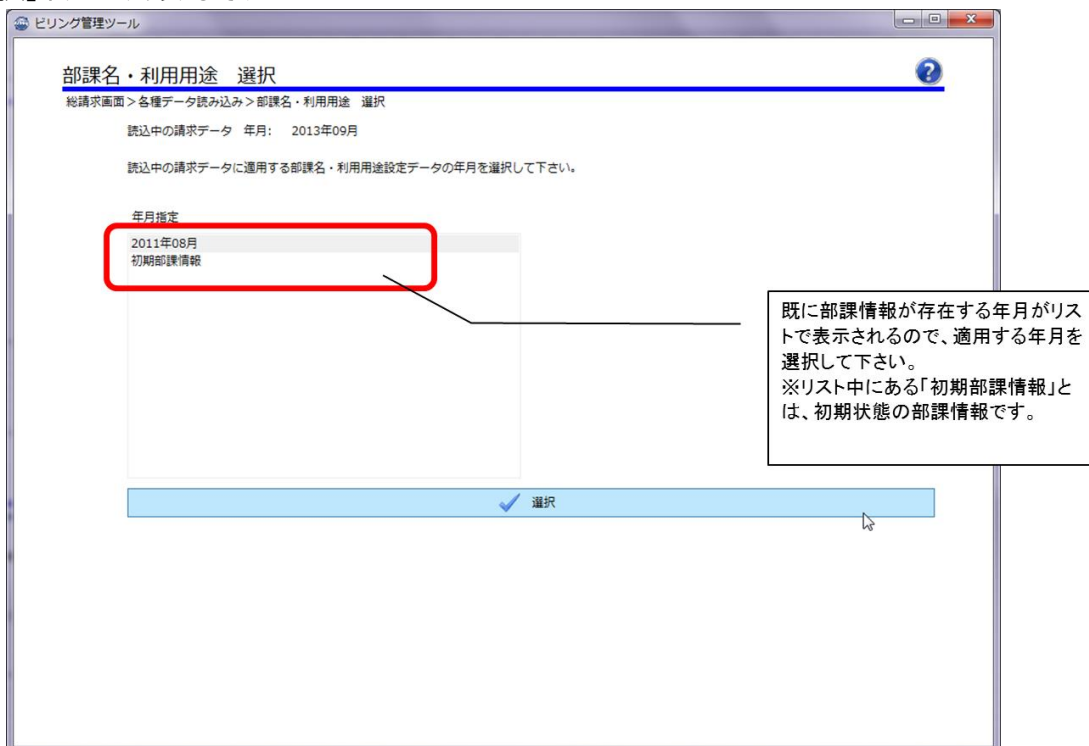
③ 「データ読み込み」ボタンをクリックし、請求データの読込処理を開始します。



#### 【特記事項】

読込処理の開始直後に、読込んだ請求データの請求年月に該当する部課情報が存在しない場合、該当月の部課情報を新規に作成する必要があるため、「部課名・利用用途設定年月選択」画面が表示されます。

この場合、画面中の「年月指定」に表示されたリストから適用する部課情報年月または初期部課情報を選択し、「選択」ボタンをクリックしてください。

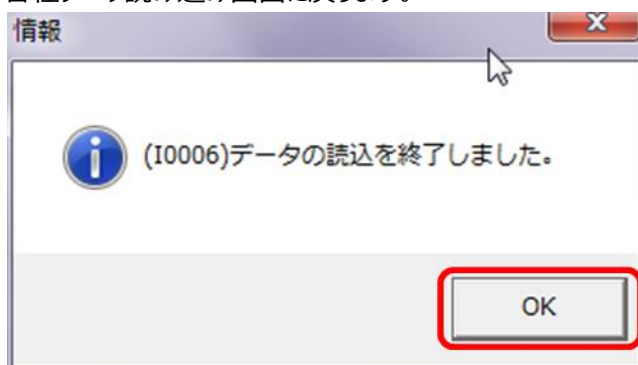


④ 請求データ読込時には以下の画面が表示されます。

大量データを読み込んだ場合、処理完了まで数分かかることがあります。



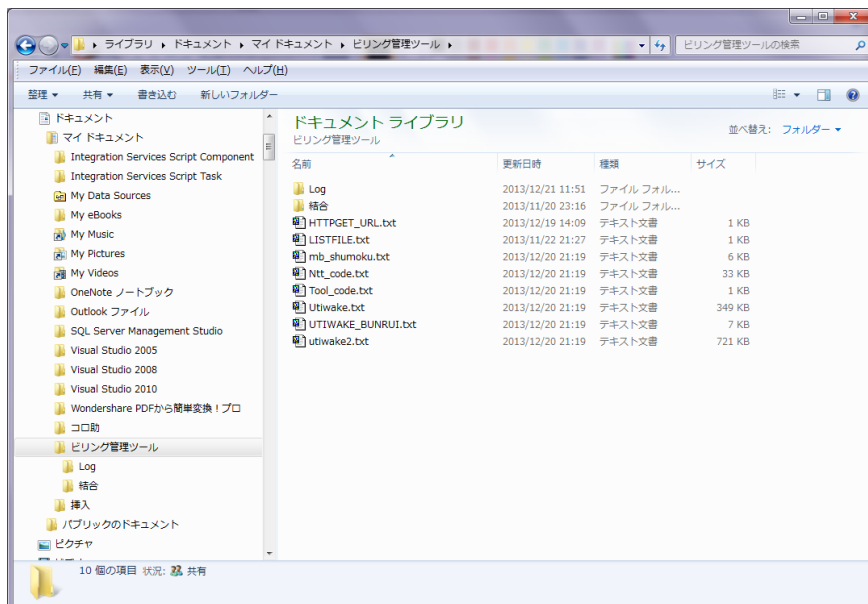
- ⑤ 請求データ読み込み処理が完了すると終了ダイアログ画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると各種データ読み込み画面に戻ります。



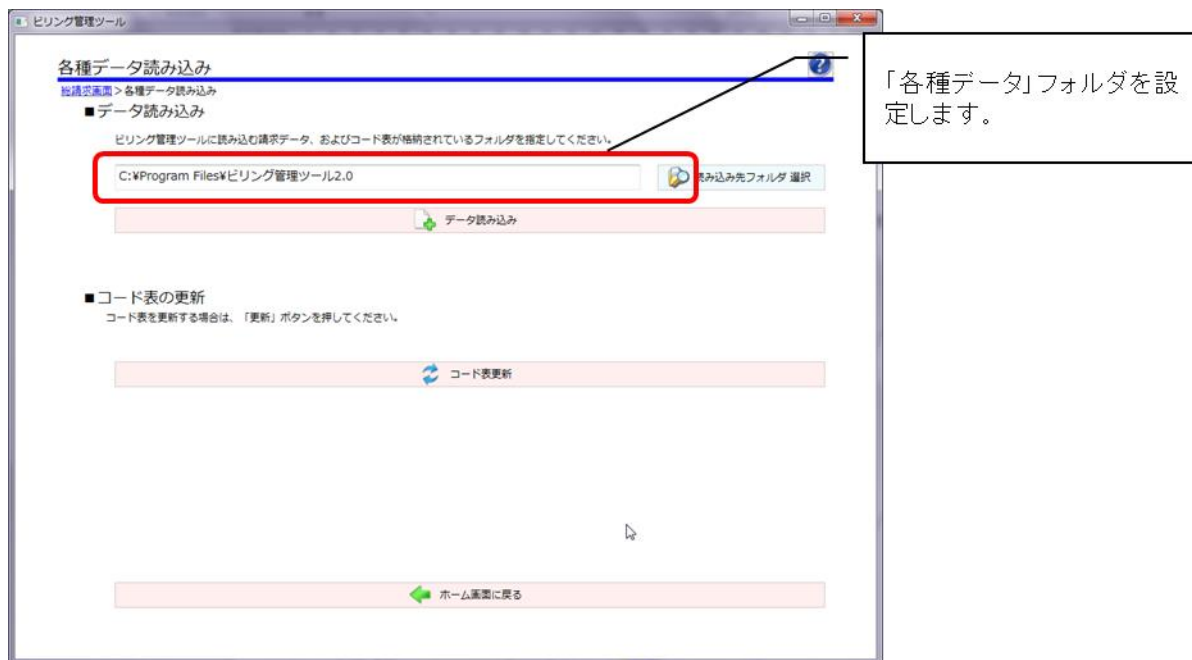
## (2) 一括読み込み方法による請求データ読み込み手順

任意の複数フォルダ配下に請求データを保存し、一括して読み込む方法です。本手順により複数の請求データを同時に読み込むことができます。手順は次の通りです。

- ① 任意フォルダ配下の各フォルダに読み込む請求データを保存します。なお、各フォルダに保存する請求データは後述の **1-3 節 読み対象データ一覧** を参照してください。



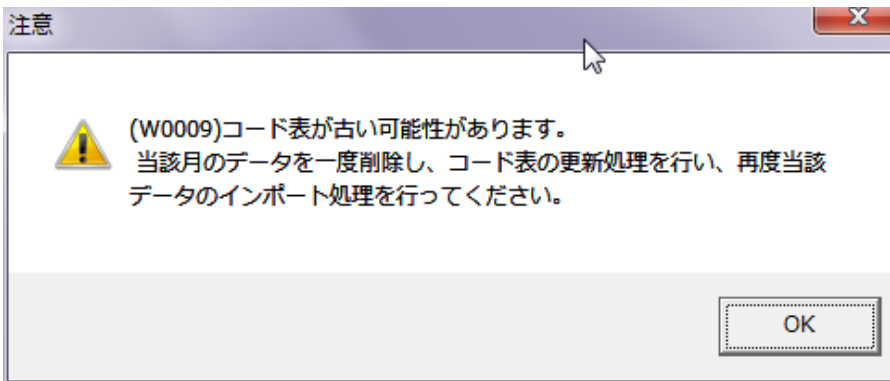
- ② 各種データ読み込み画面にて「読み込み先フォルダ選択」ボタンをクリックし、上記①の「各種データ」フォルダを設定します。



- ③ 以降の手順は、前述の「(1) 個別読み込み方法による請求データ読み込み手順」の手順③～⑤と同一です。

## (1) 読込済みのコード表が古い時の対処方法

請求データの読込処理中に以下のエラーメッセージが表示された場合、読込済みのコード表が古い可能性がありますので、コード表を更新してください。

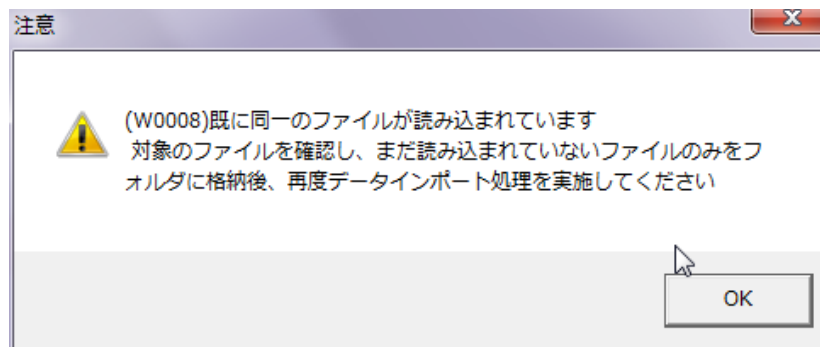


このメッセージが表示された場合、以下の手順に従って、コード表の更新と請求データの再読込処理を実施してください。

- ① **V章 1節 月別データ削除**を参照して、当該エラーが発生した請求データの請求年月の削除処理を実施します。
- ② 後述の**1-2節 コード表の更新**を参照して、コード表の更新を実施します。
- ③ 再度、当該エラーが発生した請求データの読込処理を実施します。

## (2) 同一請求データを誤って再度読込んだ時の対処方法

既に本ツールに読込まれている請求データを誤って再度読込んだ場合は、以下のメッセージが表示され、読込むことはできません。本エラーが発生した場合は、該当の請求データを読込対象フォルダから移動し読込対象外とした上で、再度データ読込処理を実施してください。

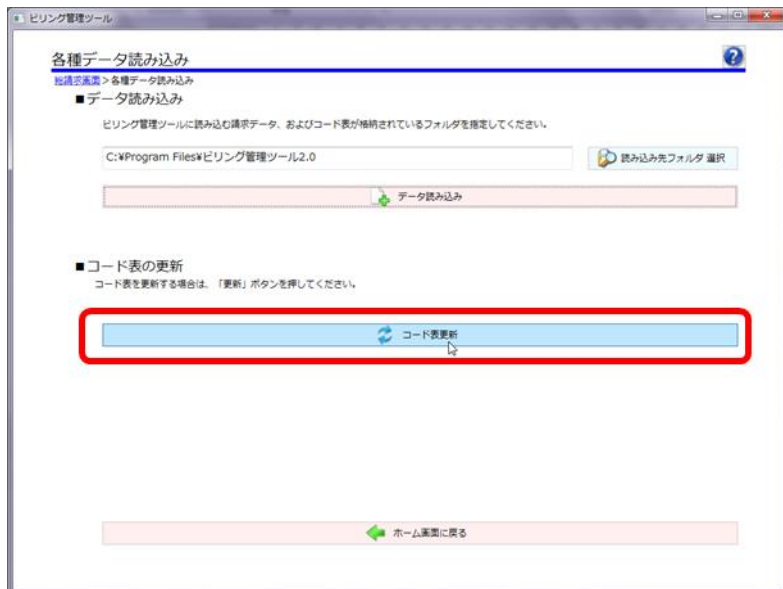


## 1-2 コード表の更新

コード表の更新手順について説明します。本ツールがインストールされている PC のインターネットへの接続有無に応じて以下の手順に従います。

### (1) インターネットに接続している PC 環境の場合

- a. 各種データ読み込み画面の「コード表更新」ボタンをクリックします。



### (2) インターネットに接続していない PC 環境の場合

- a. 請求会社から CD-ROM 等にて提供されたコード表ファイル一式を任意のフォルダに保存します。

読込対象のコード表ファイルについては、後述の **1-3 節 読込対象データ一覧**を参照してください。

- b. 上記 a でコード表ファイル一式を保存したフォルダの場所を、各種データ読み込み画面の「読み込みフォルダ選択」ボタンをクリックして、該当のフォルダを選択します。

- c. 各種データ読み込み画面の「データ読み込み」ボタンをクリックします。



### 1-3 読込対象データ一覧

本ツールの読込対象の請求データ、およびコード表を説明します。

#### (1) 対象請求データ一覧

<提供方法： CD-ROM>

提供企業	請求内訳データ		ファイル名(先頭 1 桁目)		一括読込方法における 保存フォルダ名称
			固定長 フォーマット	CSV フォーマット	
NTT 東日本 NTT 西日本	番号別明細	電話番号別明細	K	K	NTT 地域会社
		電話番号別明細内訳 (複数回線割引サービス)	D	D	
		専用線番号別明細内訳	E	S	
		専用線 (可変)	X	Y	
		ひかり電話番号別明細	N	N	
		フレッツ広域一括請求	D	D または F	
	ダイヤル通話明細	ダイヤル通話明細	M	M	
		ダイヤル通話明細内訳 (複数回線割引サービス)	R または T また は J	R または T また は J	
	ダイヤルイン	ダイヤルイン追加番号別明細	P	P	
	ホスト課金内訳	ISDN	H	H	
アナログ		H	H	ホスト課金(アナログ)	
NTT コミュニケーショ ンズ	番号別明細	番明電話	D または K	D	NTT コミュニケーションズ
		番明 OCN	N	N	
		番明国際	W	W	
		請求収納	X	X	
		専用線	E	S	
		パケット	F	L	
		大口割引	D または K	D	
	ダイヤル通話明細	通話明細	R	R	
		メンバーズホスト一括送付	R	R	
		大口割引	R	R	
NTT ドコモ	番号別明細	料金請求内訳	M	-	NTT ドコモ
	ダイヤル通話明細	ダイヤル通話明細内訳	T	-	

**【特記事項】**

「NTTドコモ-Web サイトのデータ転送サービス（clamp）」の Web サイトのデータ転送サービスよりダウンロードした請求明細と料金明細は、ファイル名を変更することによって本ツールに読み込むことができます。通信明細は読み込むことはできません。

ファイル名の変更手順は次の通りです。

- ① ファイルの拡張子を“.cla”から“.txt”に変更してください。
- ② 請求明細の場合はファイル名の先頭に“M”を、料金内訳の場合はファイル名に“T”付加してください。
- ③ この“M”または“T”を含めたファイル長が 17 桁になるようにしてください。この 17 桁には、拡張子(“.txt”)は含まれません。

例えば以下の通りです。

<請求明細の場合>

変更前： file1093607107CSV01.cla

変更後： M1093607107123456.txt

<料金明細の場合>

変更前： file1093673247CSV01.cla

変更後： T1093673247123456.txt

※ 同一データを別のファイル名に変更して再度読み込まないでください。「NTTドコモ-Web サイトのデータ転送サービス（clamp）」の場合、ファイル名称を二重読み込みチェックに使用していますので、同一データを別のファイル名に変更した場合、別データとして認識されて読み込まれます。この場合、該当の回線のご利用料金が 2 倍で表示されるようになりますので、ご注意ください。

## (2) 対象コード表一覧

本ツールが正常に動作するためには、以下の全てのコード表を読み込む必要があります。

コード表名称	ファイル名	一括読み込み方法における 保存フォルダ名称
内訳コード	Utiwake.txt	コード表
内訳コード2	Utiwake2.txt	
各種コード	Ntt_code.txt	
NTT ドコモ種目コード	Mb_shumoku.txt	
請求内訳分類コード	Utiwake_bunrui.txt	
ツール用各種コード	Tool_code.txt	
小分類振り分け	CAS_FURIWAKE.txt	
ダウンロード先URLリスト	HTTPGET_URL.txt	
リストファイル	LISTFILE2.txt	

「内訳コード2 : Utiwake2.txt」は、先頭文字の“U”が大文字・小文字でも有効ファイルとなります。

## 2. 部課名・利用用途情報の設定

本節では以下の手順を説明します。

説明内容	利用契機	記載箇所
部課・回線情報の新規作成	読込んだ請求データの請求年月に該当する部課情報が存在しない場合	2-1 節
部課名の追加・変更・削除、各部課の所属回線の変更、および回線の利用用途を設定・変更	請求データの読込処理完了後や部課・回線情報の初期化後に、部課名・所属回線・回線の利用用途を設定・変更したい場合	2-2 節
部課・回線情報の初期化	「Billing管理ツール V2.0」の部課・回線情報を本ツールに移行したい場合本ツールの部課・回線情報を新規に構築し直したい場合	2-3 節

### 2-1 新規作成

IV章 1-1 節説明の請求データ読込処理時に、読込んだ請求データの請求年月に該当する部課情報が存在しない場合、該当月の部課情報を新規に作成する必要があります。作成要否は本ツールが請求データ読込処理中に自動的に判別し、必要がある場合は、「部課名・利用用途 設定年月選択」画面を表示します。

この画面が表示された場合、画面中の「年月指定」に表示されたリストから適用する部課情報年月または初期部課情報を選択し、「選択」ボタンをクリックしてください。

部課名・利用用途 設定年月選択

総請求票票各種データ読み込み 部課名・利用用途 設定年月選択

読込中の部課名・利用用途設定データ 年月: 2003年12月

現在、読込中のファイルは上記年月の部課名・利用用途設定データです。  
適用先を他の年月に変更する場合は、下記の【年月指定】を変更してください。

年月指定

- 2001年07月
- 2013年09月
- 初期部課情報

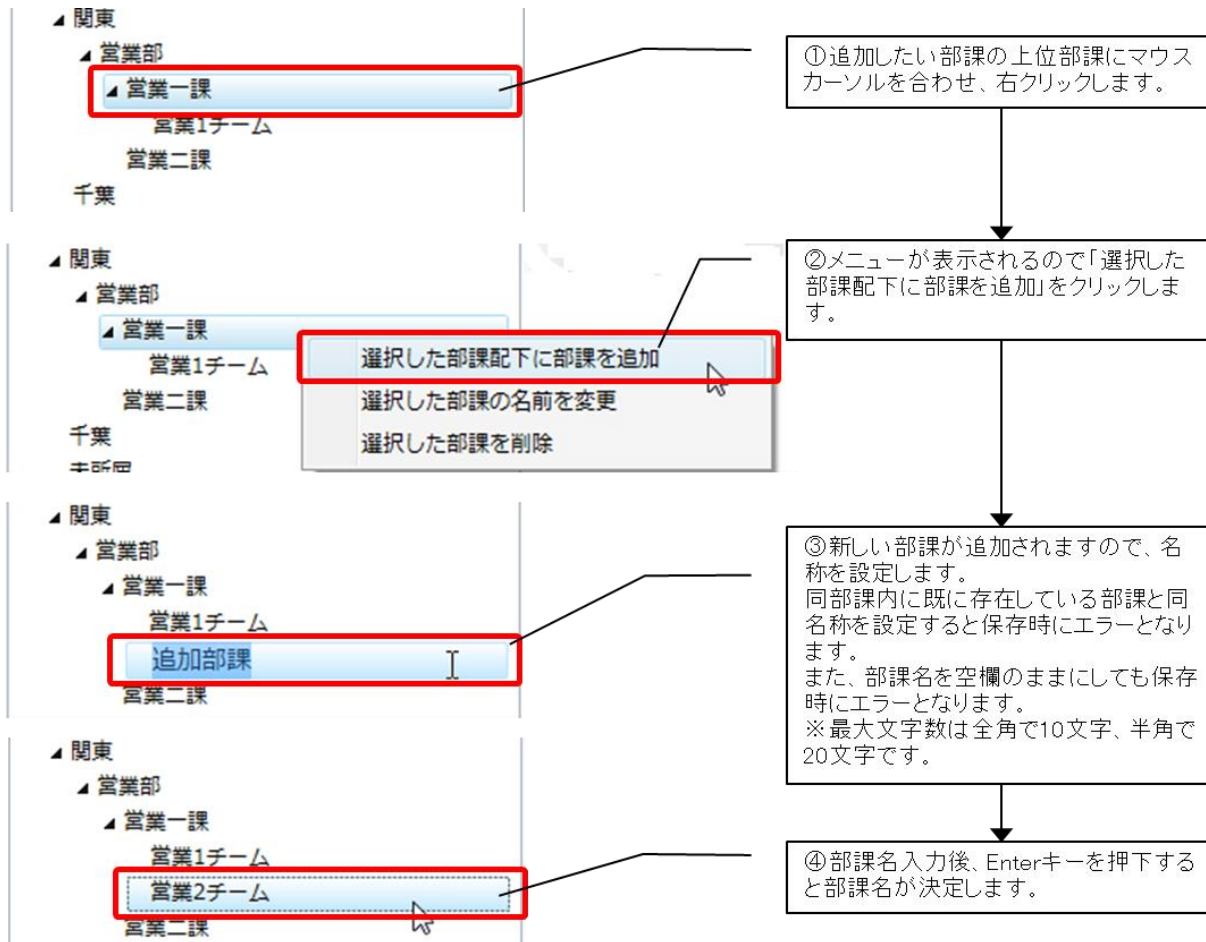
選択

既に部課情報が存在する年月がリストで表示されるので、適用する年月を選択して下さい。  
※リスト中にある「初期部課情報」とは、初期状態の部課情報です。



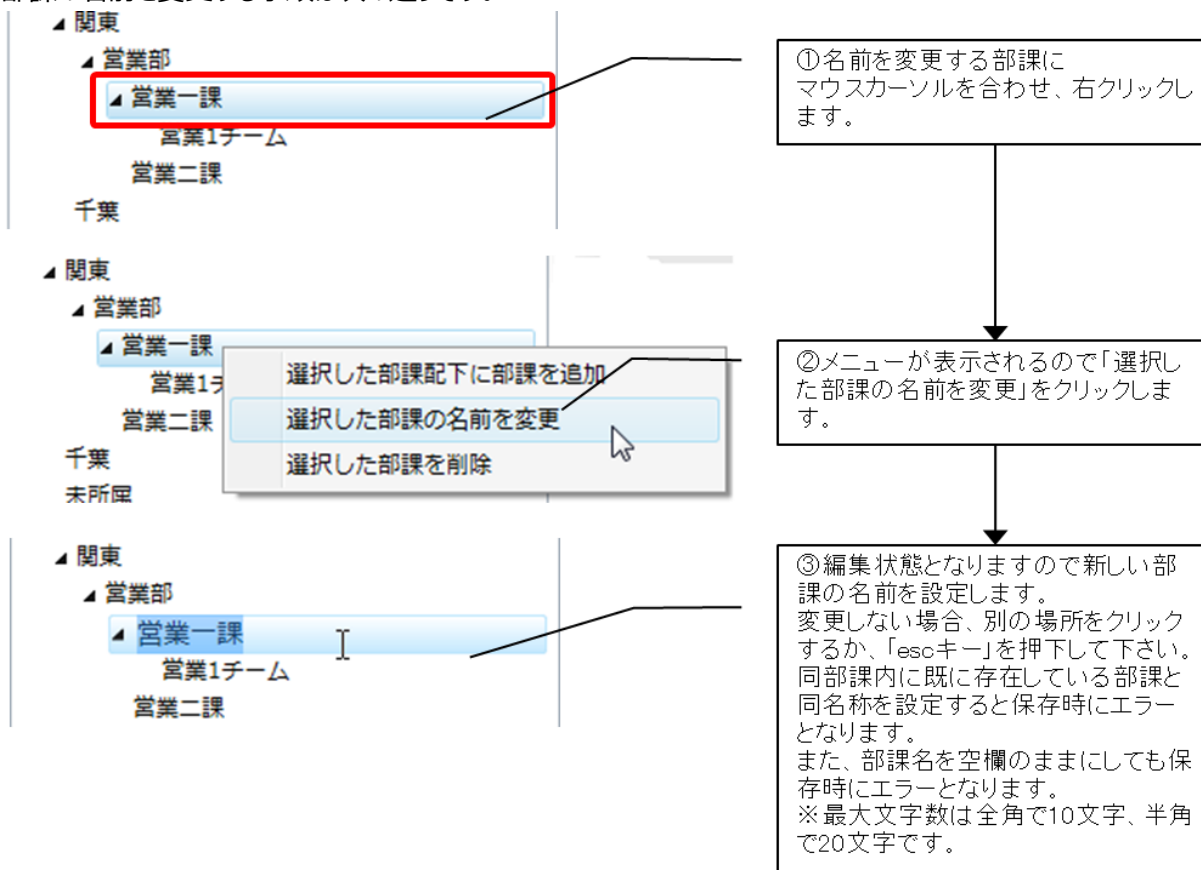
## (2) 部課を追加

部課を新規追加する手順は次の通りです。



### (3) 部課の名前を変更

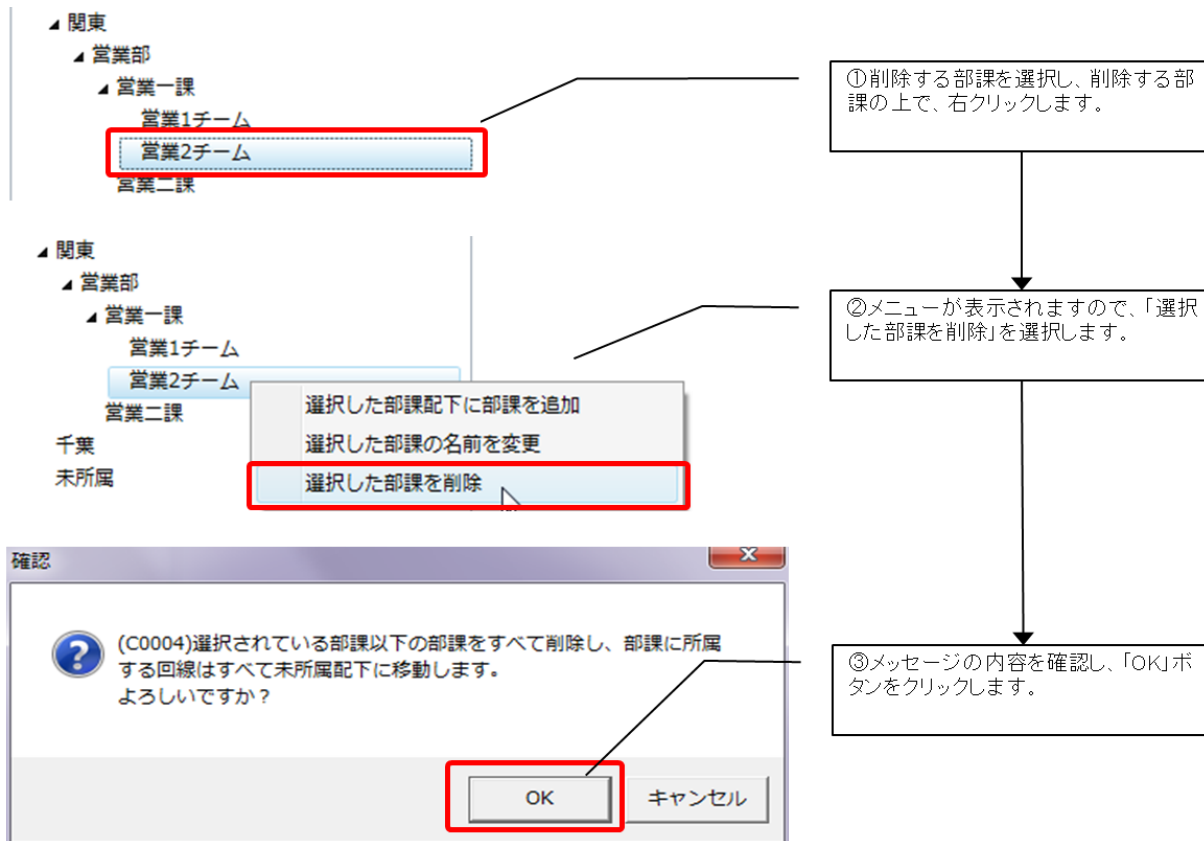
部課の名前を変更する手順は次の通りです。



#### (4) 部課の削除

現在存在している部課の削除手順は次の通りです。

※ 削除された部課に部課や回線が所属していた場合、配下の全ての部課は全て削除され、全ての回線は未所属配下に移動します。



## (5) 部課・回線の移動

部課・回線を現在所属している部課から他の部課への移動する際は次の通りです。

① 移動する部課・回線が存在する部課を選択します。

② 右クリックに表示される部課・回線を選択 (Shiftを押下しながらクリックすると複数選択) し、ドラッグして移動先の部課へドロップします。

③ メッセージの内容を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

確認

(C0007) 選択された部課・回線を「営業一課」から「営業2チーム」に移動します。  
よろしいですか?

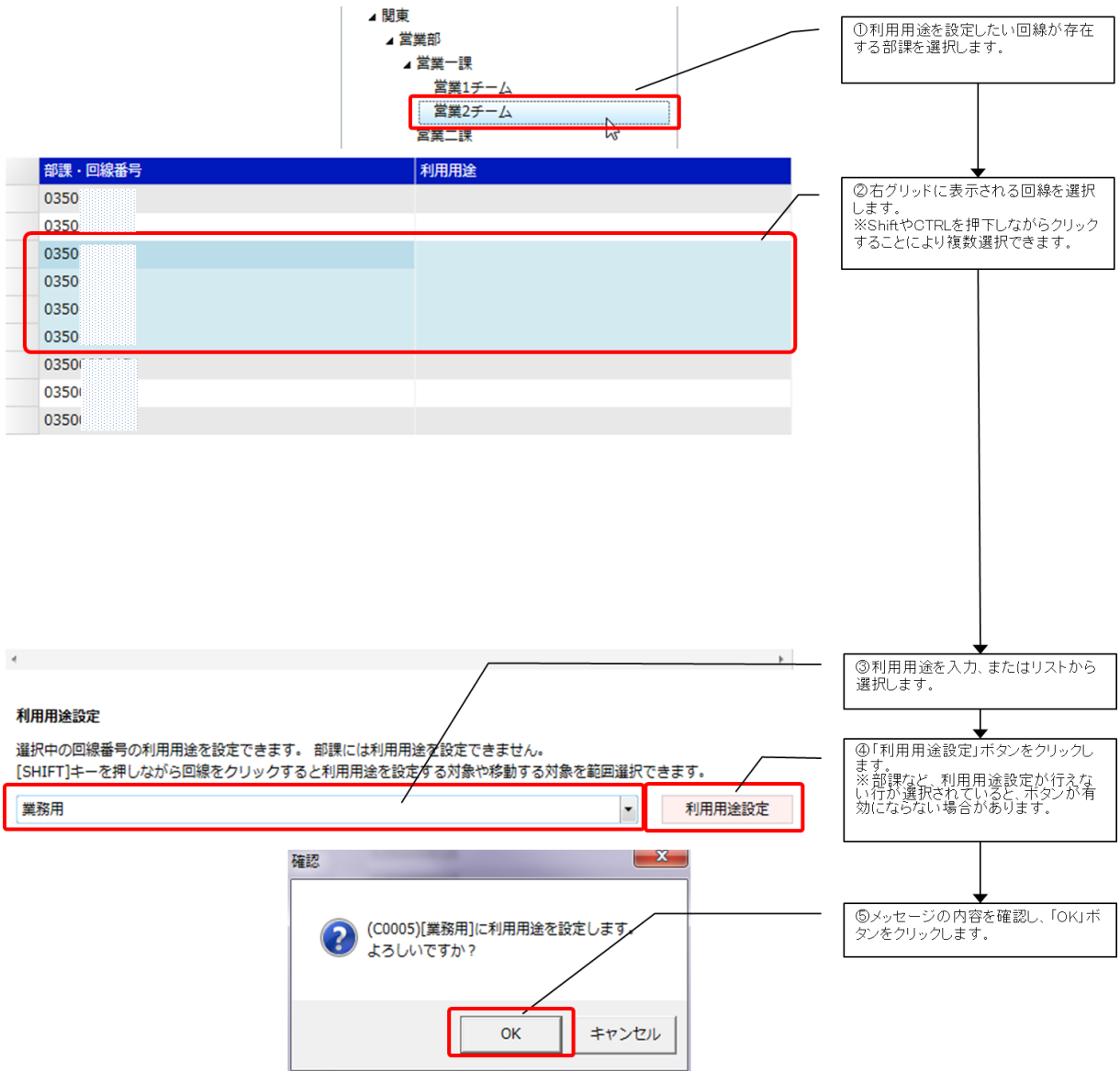
OK キャンセル

また、部課の移動は左フレーム内で部課名をドラッグすることでもできます。

① 移動する部課を選択し、ドラッグして移動先の部課へドロップします。

## 利用用途情報の設定

回線に利用用途を新規に設定する際の手順、および既に設定されている利用用途を変更する際は次の通りです。



※ 手順②で選択された行の中に誤って部課が選択されていた場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、正しい部課を選択し直してください。



## (6) 部課・利用用途情報のエクスポート

部課名・利用用途設定画面に表示されている全ての部課・回線情報をテキストファイルにエクスポートすることができます。

このファイルは後述の (7) 部課・利用用途情報のインポート、および 2-4 節 部課・利用用途情報のインポート用のデータとして活用することも出来ます。

部課・回線情報のテキストファイルへのエクスポート手順は次の通りです。

部課名・利用用途設定 (2013年09月~2013年09月)

部課別データ エクスポート

部課・回線番号

部課	回線番号	利用用途
営業一課		
営業二課		

確認

(C0020)設定した部課・回線情報を登録します。  
よろしいですか?  
[はい:登録してエクスポート]  
[いいえ:編集中の状態は保存せず、編集前の状態でエクスポート]  
[キャンセル:エクスポートしない]

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

情報

(I0002)部課・利用用途設定を保存しました。

OK

名前を付けて保存

マイドキュメント > ビリング管理ツール > 部課名・利用用途設定データ

名前	更新日時	種類	サイズ
全回線情報_198802.txt	2013/12/22 12:14	テキスト文書	0 KB
全回線情報_199907.txt	2013/12/25 22:26	テキスト文書	1 KB
全回線情報_200110.txt	2013/12/27 17:30	テキスト文書	1 KB
全回線情報_200207.txt	2013/12/27 18:44	テキスト文書	12 KB
全回線情報_200208.txt	2013/12/27 16:21	テキスト文書	1 KB
全回線情報_200312.txt	2013/12/26 10:51	テキスト文書	2 KB
全回線情報_201201.txt	2013/12/27 15:05	テキスト文書	2 KB
全回線情報_201307.txt	2013/12/26 14:41	テキスト文書	4 KB
全回線情報_201309.txt	2013/12/26 13:04	テキスト文書	695 KB
全回線情報_201311.txt	2013/12/26 13:52	テキスト文書	1 KB
部課名/回線番号登録設定_200208.txt	2013/12/19 10:35	テキスト文書	2 KB
部課名/回線番号登録設定_201311.txt	2013/12/24 21:50	テキスト文書	1 KB

ファイル名(N): 部課名/回線番号登録設定\_201309.txt  
ファイルの種類(T): 部課名・利用用途エクスポートファイル (\*.txt)

保存(S) キャンセル

情報

(I0003)部課データの出力処理を終了しました。

OK

①「部課別データエクスポート」リボンをクリックします。

②現在、編集中の部課別利用用途設定を保存するか確認するメッセージが表示されるので、保存する場合は「はい」ボタンをクリックする。

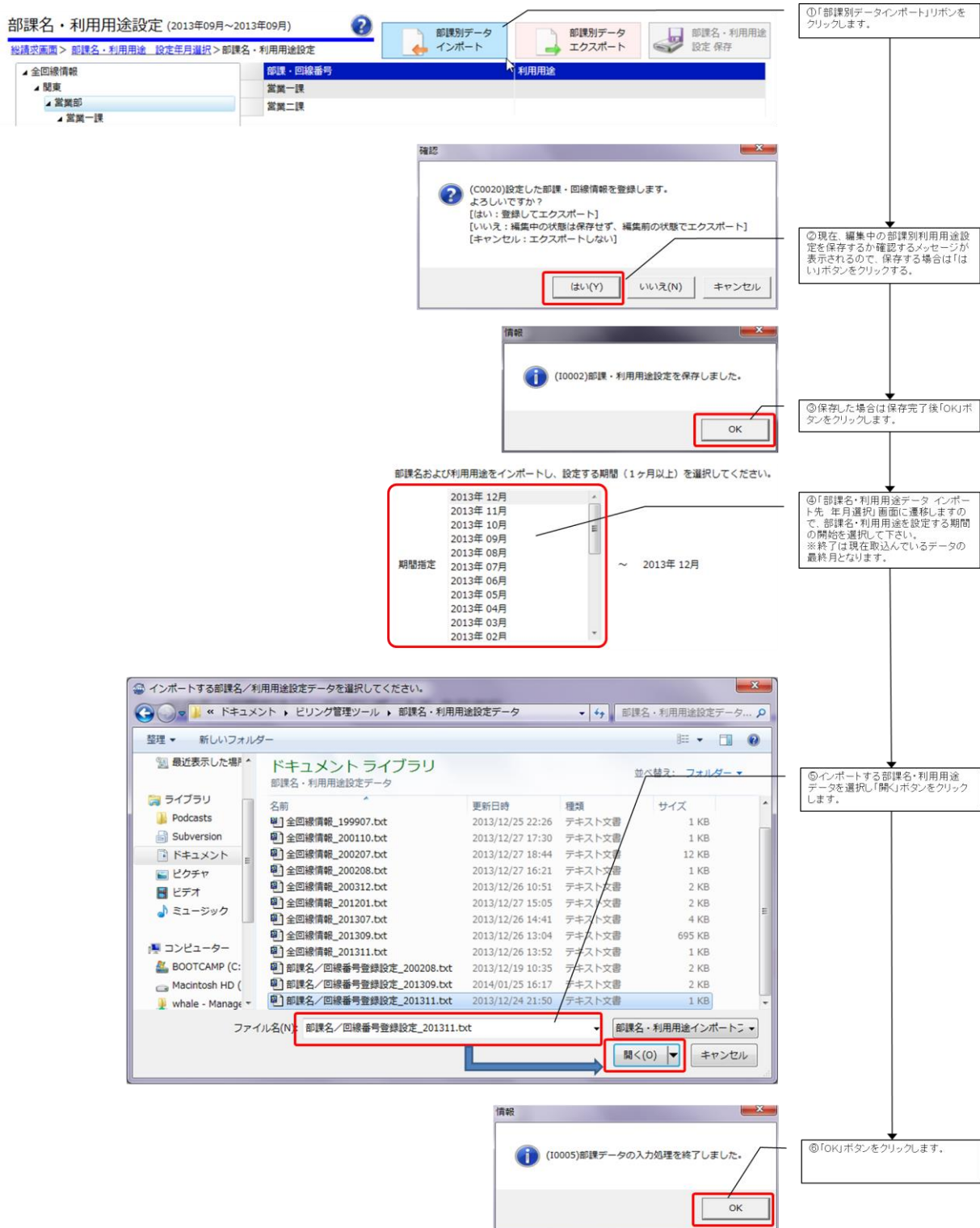
③保存した場合は保存完了後「OK」ボタンをクリックします。

④保存するフォルダ、ファイル名を確認し「保存」ボタンをクリックします。

⑤「OK」ボタンをクリックします。

## (7) 部課・利用用途情報のインポート

部課名・利用用途設定画面に表示されている全ての部課・回線情報をテキストファイルから取り込むことができます。このとき、現在の部課・利用用途情報はすべて破棄されて、入力したデータで上書きされます。部課・回線情報のテキストファイルからのインポート手順は次の通りです。



※ 過去月の部課と同名称の部課を初期化処理で設定しても、同部課とはみなされません。過去月の部課は他部課とみなされ、総請求画面表示では「その他部課・回線」となって表示されます。

※ この機能は後述する「IV 4 節 部課名・利用用途のインポート」と同機能です。

## (8) 部課・利用用途情報の保存

上記手順にて設定・変更した部課名・利用用途情報を反映するには、保存する必要があります。

保存手順は次の通りです。

部課名・利用用途設定 (2014年01月~2014年01月)

総請求画面 > 部課名・利用用途 設定年月選択 > 部課名・利用用途設定

部課別データ インポート | 部課別データ エクスポート | 部課名・利用用途 設定 保存

全回線情報	部課・回線番号	利用用途
営業部	営業部	
総務部	総務部	
未所属	未所属	

確認

(C0020)設定した部課・回線情報を登録します。  
よろしいですか?  
[はい:登録してエクスポート]  
[いいえ:編集中の状態は保存せず、編集前の状態でエクスポート]  
[キャンセル:エクスポートしない]

はい(Y) | いいえ(N) | キャンセル

各ボタンの動作は次の通りです。  
「はい」 : 設定を反映して、総請求画面へ戻ります。  
「いいえ」 : 設定情報を破棄して、総請求画面に戻ります。  
「キャンセル」 : 何も行わず、部課名・利用用途設定画面に戻ります。

情報

(10002)部課・利用用途設定を保存しました。

OK

①「部課名・利用用途設定 保存」ボタンをクリックします。

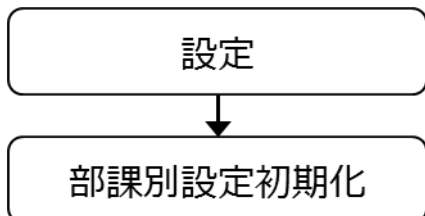
②現在、編集中の部課別利用用途設定を保存するか確認するメッセージが表示されるので、保存する場合は「はい」ボタンをクリックする。

③保存した場合は保存完了後「OK」ボタンをクリックします。

## 2-3 部課別設定初期化

部課名および部課構造の設定、利用用途の初期化する手順について説明します。

本手順は、「ピリング管理ツール V2.0」の部課・回線利用用途を移行する場合、または部課・回線利用用途データを新規に構築したい場合などに実施します。



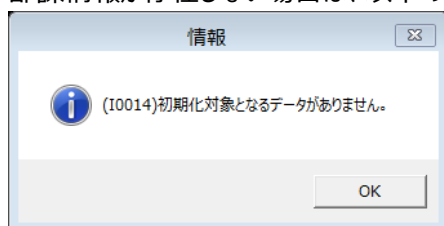
※ 既に部課情報が存在している状態で本手順を実施した場合、下記の手順③で選択した初期化対象の年月の部課情報は削除され、初期化対象外の過去月の部課情報とは関連性がなくなりますので、本手順を実施する際には注意してください。

以下の手順を説明します。

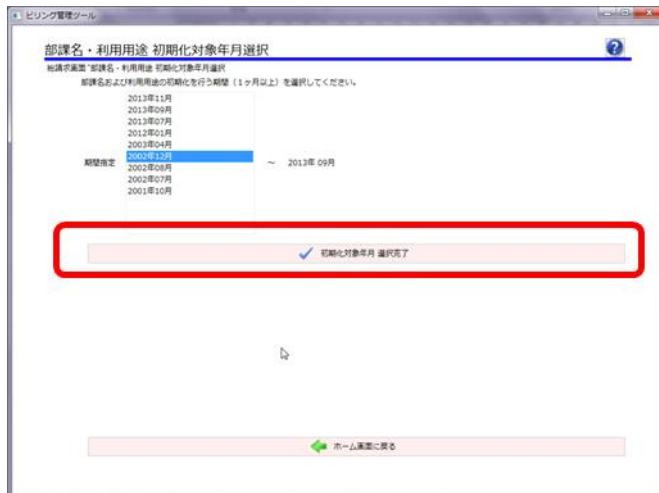
- ① メニューより「設定」⇒「部課別設定初期化」リボンをクリックします。



- ② 「部課別・利用用途 初期化対象年月選択」画面が表示されます。  
年月指定のリストにはデータベース上の部課情報が登録されている月の一覧が表示されます。  
部課情報が存在しない場合は、以下のメッセージが表示されます。

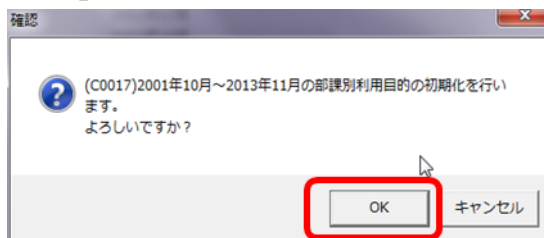


- ③ 表示されたら、初期化する任意の年月を選択し、「初期化対象年月 選択完了」ボタンをクリックします。



- ④ 初期化実行前に再度、下記のような確認メッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると初期化が実行されて、登録されていた部課情報は復元できません。

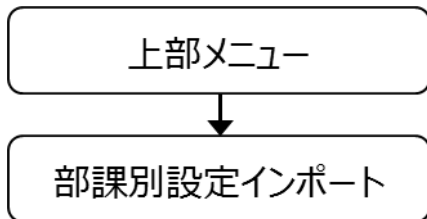


## 2-4 部課別設定インポート

部課名および部課構造の設定、各回線の利用用途をテキストファイルからインポートする手順について説明します。

本機能で利用するテキストファイルの形式は、前述の **2-2 節 部課・回線情報の設定 (6)「部課・利用用途情報のエクスポート P43」**で出力されたテキストファイル形式です。

本手順は、「ビリング管理ツール V2.0」の部課・回線利用用途を移行する場合、または保存済のテキスト形式部課・回線利用用途データを使って、部課名・利用用途設定情報を登録します。



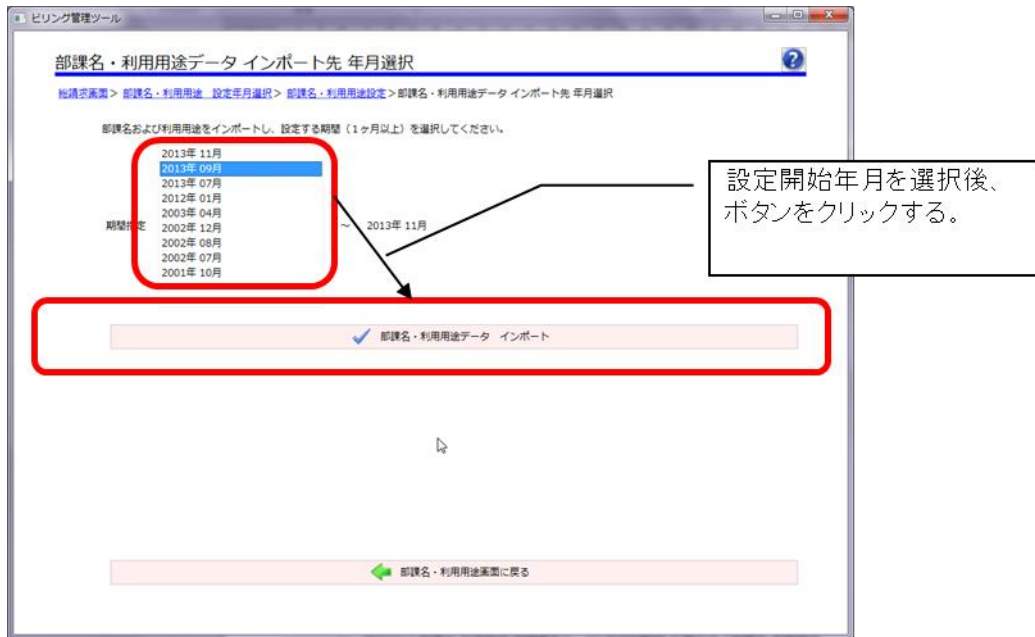
※ 既に部課情報が存在している状態で本手順を実施した場合、下記の手順③で選択した初期化対象の年月の部課情報は削除され、初期化対象外の過去月の部課情報とは関連性が無くなりますので、本手順実施の際は注意してください。

以下の手順を説明します。

- ① メニューより「設定」⇒「部課別設定インポート」リボンをクリックします。



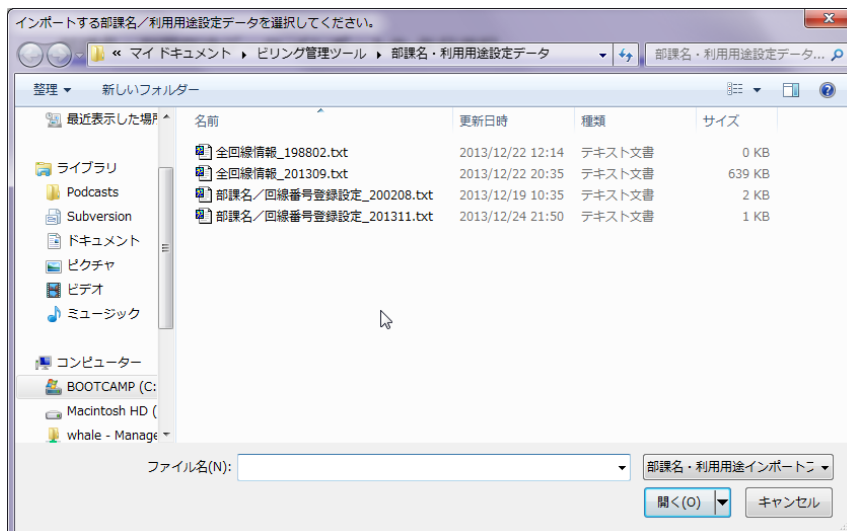
- ② 部課名・利用用途データ インポート先 年月選択画面が表示されます。  
 これよりインポートする部課情報を現在データベースにあるどの年月から適用するかを選択します。  
 選択したら「部課名・利用用途データ インポート」ボタンをクリックします。



- ※ 設定先となる年月の期間指定ができるのは期間の開始年月のみで、終了年月については常に現在データベースに登録されている最新の年月まで適用します。
- ※ 部課名・利用用途データは年月毎に登録されているデータに適用されるため、設定する期間が多くなると更新時間が長くなります。

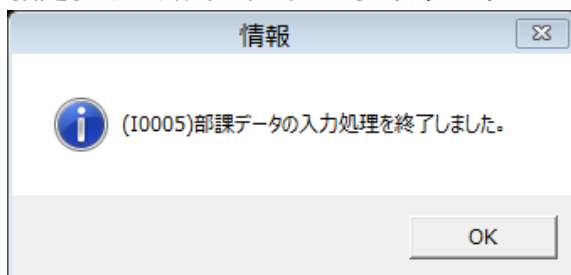
- ③ インポートする部課名・利用用途データを選択します。

ここでは、「ビルディング管理ツール V2.0」、もしくは本ツールで出力したテキスト形式の部課名・利用用途設定情報データが指定できます。



- ※ 旧ツール「ビリング管理ツール V2.0」のデータ出力手順は、  
・「**ビリング管理ツール V2.0 操作マニュアル 2013 年 12 月 27 日**  
**IV章 2-2 節 部課・回線情報の設定 (6)「部課・利用用途情報のエクスポート」**を参照してください。
- ※ 本ツールでのデータ出力手順は、前述の **2-2 節 部課・回線情報の設定 (6)「部課・利用用途情報のエクスポート P43」**を参照してください。

④ 指定したデータがインポートされると以下のメッセージが表示されます。

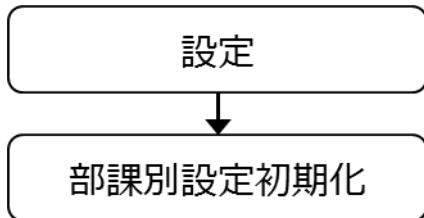


- ※ 手順③で指定したデータに部課情報が含まれていれば、本ツールのメイン画面の左フレーム「部課・回線選択画面」に部課情報が表示されます。
- ※ 設定された部課名・利用用途・回線番号データを確認する場合は、「部課名・利用用途設定」機能で実施することができます。  
詳細は、前述の **2-2 節 部課・回線情報の設定**を参照してください。

### 3. 部課名・利用用途の初期化

部課名および部課構造の設定、利用用途の初期化する手順について説明します。

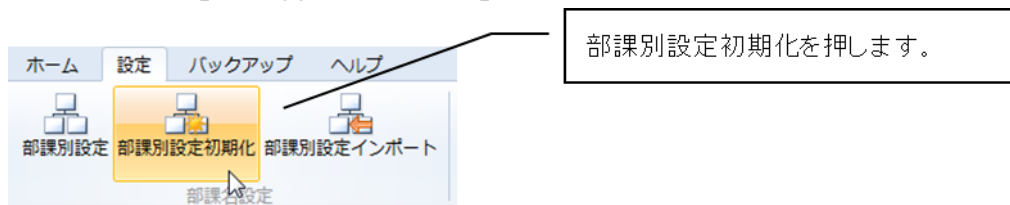
本手順は、「ビリング管理ツール V2.0」の部課・回線利用用途を移行する場合、または部課・回線利用用途データを新規に構築したい場合などに実施します。



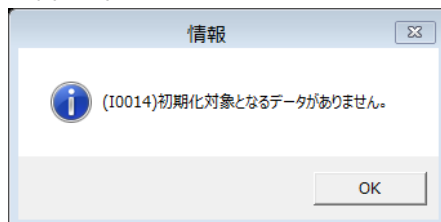
※ 既に部課情報が存在している状態で本手順を実施した場合、下記の手順③で選択した初期化対象の年月の部課情報は削除され、初期化対象外の過去月の部課情報とは関連性が無くなりますので、本手順を実施の際は注意してください。

以下の手順を説明します。

- ① メニューより「設定」⇒「部課別設定初期化」リボンをクリックします。



- ② 「部課別・利用用途 初期化対象年月選択」画面が表示されます。  
年月指定のリストにはデータベース上の部課情報が登録されている月の一覧が表示されます。  
部課情報が存在しない場合は、以下のメッセージが表示されます。



- ③ 表示されたら、初期化する任意の年月を選択し、「初期化対象年月 選択完了」ボタンをクリックします。

部課名・利用用途 初期化対象年月選択

総請求業務「部課名・利用用途」初期化対象年月選択

部課名および利用用途の初期化を行う期間（1ヶ月以上）を選択してください。

2013年09月	1999年07月
----------	----------

期間指定 ~ 2013年 09月

初期化対象年月 選択完了

ホーム画面に戻る

初期化したい期間を選択します。

初期化対象年月 選択完了ボタンを押します。

- ④ 初期化実行前に再度、下記のような確認メッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると初期化が実行されて、登録されていた部課情報は復元できません。

初期化対象年月 選択完了ボタンを押下すると以下のメッセージが表示され、初期化が開始されます。

確認

(C0017)2013年09月～2013年09月の部課別利用目的の初期化を行います。  
よろしいですか?

OK キャンセル

- ⑤ 対象期間の部課名・利用用途の初期化が終了すると以下のメッセージが表示されます。

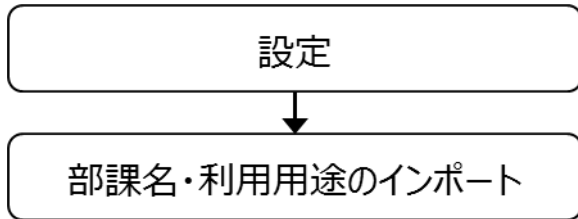
情報

(I0012)指定期間の部課別利用用途設定を初期化しました。

OK

## 4. 部課名・利用用途のインポート

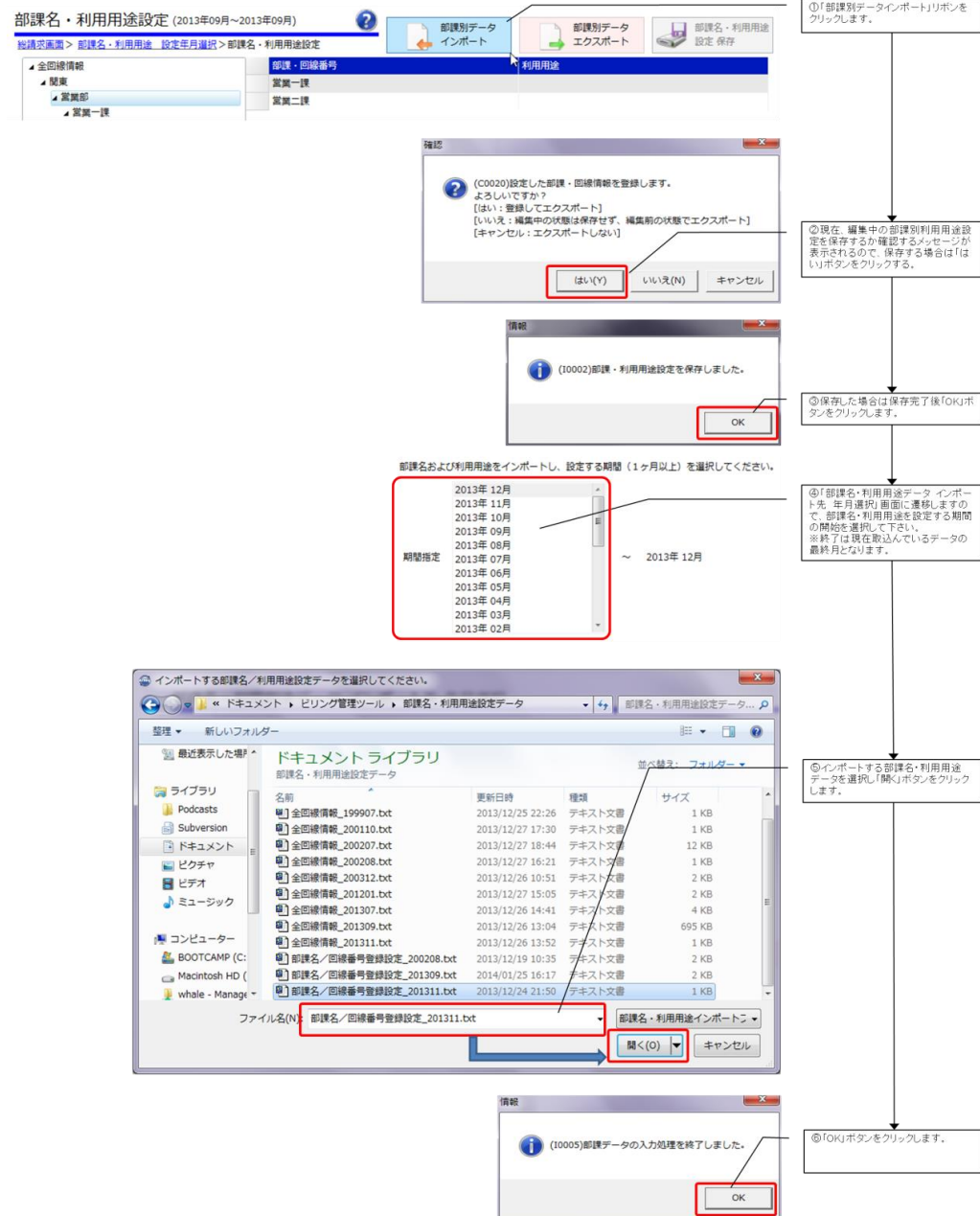
部課名および部課構造の設定、利用用途のインポートする手順について説明します。



部課名・利用用途設定画面に表示されている全ての部課・回線情報をテキストファイルから取込みます。

このとき、現在の部課・利用用途情報はすべて破棄されて、入力したデータで上書きされます。

部課・回線情報のテキストファイルからのインポート手順は次の通りです。



※ 過去月の部課と同名称の部課を初期化処理で設定しても、同部課とはみなされません。過去月の部課は他部課とみなされ、総請求画面表示では「その他部課・回線」となって表示されます。

※ この機能は前述の「IV 2-2 節. (7) 部課・利用用途情報のインポート P44」と同機能です。

## 5. 請求データ表示

### 5-1 総請求画面について

本ツールを起動すると以下のような総請求画面が表示されます。

この総請求画面は大きく分けると左フレームと右フレームから構成され、左フレームにはお客様が設定する部課と回線の階層構造が、右フレームには部課・回線別の請求情報が表示されます。

ホーム

左フレーム：  
部課・回線の階層構造が表示されます。請求情報  
を表示したい部課・回線を選択すると、該当す  
る請求情報が右フレームに表示されます。

右フレーム：  
左フレームで選択した  
部課・回線の請求情報  
が表示されます。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
未所属			29,057,627	29,057,627
その他の部課・回線				

会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
NTT地域会社			29,057,627	29,057,627
電話			29,057,627	29,057,627
回線使用料			17,309,684	17,309,684
通話・通信料			2,206,749	2,206,749
携帯電話等へのご利用分			194,270	194,270
PHSへのご利用分			21,310	21,310
契約料				
工事料			146,033	146,033
電報料			1,393,200	1,393,200
番号案内料			66,180	66,180
お買い上商品代金			61,000	61,000
他事業者料金				
NTTご利用通話・通信料			464,262	464,262
NTTご利用その他			27,045	27,045
その他			5,796,157	5,796,157

#### <左フレームの構成>

##### (1) 部課・回線の階層構造

部課・回線の階層構造は、IV章 2 節 部課名・利用用途情報の設定で設定した階層構造をもとに、各部課および請求データが読み込まれている回線が表示されます。

請求データが読み込まれていない回線は表示されません。

この階層構造の中から部課または回線を選択することで、右フレームに請求データを表示することができます。

## (2) 検索

左フレーム上部にある「検索タブ」をクリックすると、データベース中にある請求データの中から、期間を指定して部課および回線番号の検索することができます。

検索機能については、**IV章 6 節 部課・回線情報の検索**を参照してください。



## <右フレームの構成>

### (1) 各種データ読み込み

右フレーム上部にある「各種データ読み込み」リボンをクリックすると、請求データの読込、およびコード表の更新することができます。詳しくは、**IV章 1 節 請求データ読込、コード表の読込**を参照してください。

### (2) 全回線情報 CSV 出力

右フレーム上部にある「全回線情報 CSV 出力」リボンをクリックすると、全回線情報 CSV 出力画面へ遷移し、組織に紐づく回線番号と回線番号毎に割引額が CSV で出力できます。詳しくは、**V章 4 節 全回線情報 CSV 出力**を参照してください。

### (3) 月別データ削除

右フレーム上部にある「月別データ削除」リボンをクリックすると、月別データ削除画面へ遷移し、指定した月のデータを削除することができます。詳しくは、**V章 1 節 月別データ削除**を参照してください。

### (4) 内訳別集計

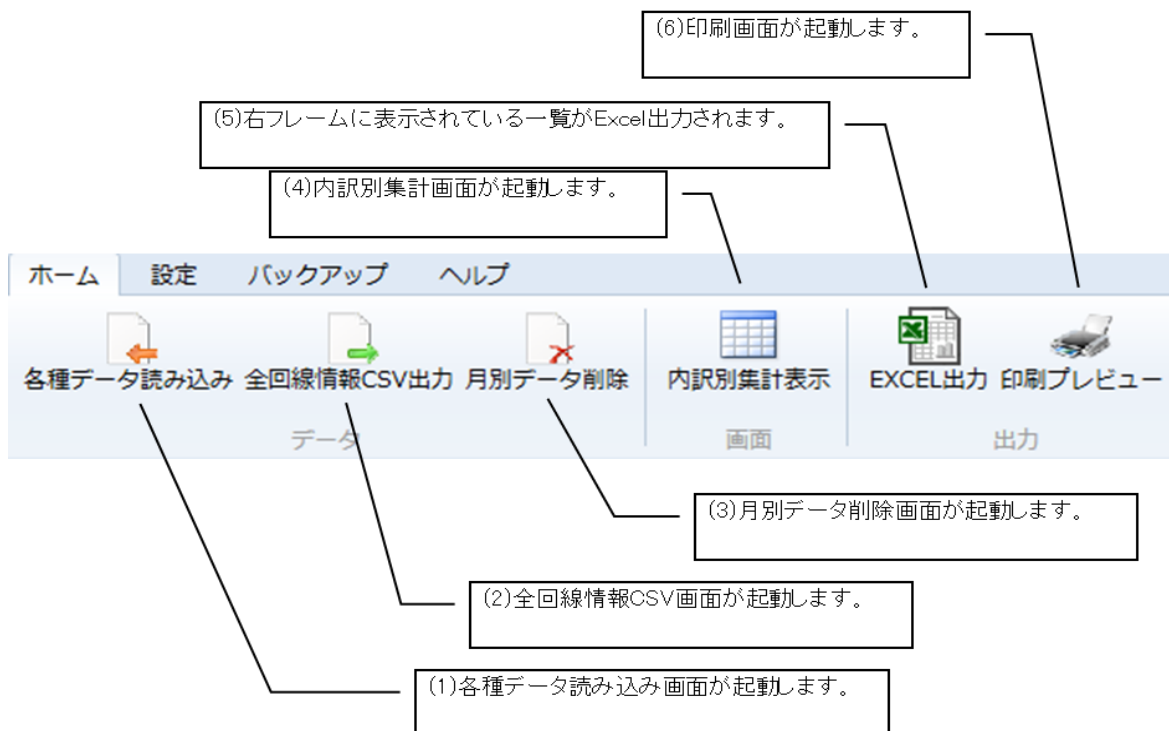
右フレーム上部にある「内訳別集計」リボンをクリックすると、内訳別集計画面へ遷移し、請求内訳別にご利用金額を参照することができます。詳しくは、**IV章 7 節 内訳別集計**を参照してください。

### (5) Excel 出力

右フレーム上部にある「Excel リボン」をクリックすると、右フレームに表示されている表を Excel に出力することができます。詳しくは、**IV章 8 節 請求データの Excel 出力**を参照してください。

## (6) 印刷

右フレーム上部にある「印刷プレビュー」リボンをクリックすると、右フレームの画面イメージを印刷することができます。詳しくは、**IV章 9 節 請求データの印刷**を参照してください。



## (7) 階層表示

右フレーム上部に、左フレームで選択している部課・回線の階層が表示されます。上位の部課は下線付きの青文字で表示され、クリックすると該当する部課の請求情報を右フレームに表示することができます。なお、この階層表示をクリックしても左フレームの階層構造の表示は変化しません。



## (8) 請求情報

左フレームで選択した部課・回線の請求情報を表示します。部課選択時、および回線選択時に表示される表は以下の通りです。詳しくは、**IV章 5-2 節 部課別ご利用料金**、**5-3 節 会社別ご利用料金**、**5-4 節 回線別ご利用料金**、**5-5 節 ご利用料金内訳**、**5-6 節 通話明細内訳**を参照してください。

### <部課選択時>

- ・ 部課別ご利用料金
- ・ 会社別ご利用料金
- ・ 通話明細内訳

### <回線選択時>

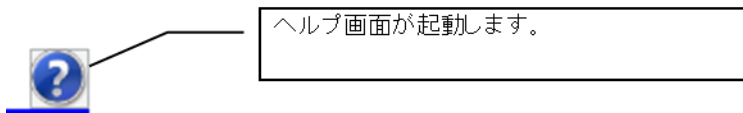
- ・ 回線別ご利用料金
- ・ ご利用料金内訳
- ・ 通話明細内訳

**(9) 請求情報の表示期間を変更する場合**

右フレームに表示する請求情報の期間を変更することができます。最新 3 ヶ月、もしくは年度の中から希望する期間を選択してください。年度を選択すると、該当年度の 12 ヶ月分が表示されます。

**(10) ヘルプを表示する場合**

右フレーム上部にあるヘルプアイコンをクリックすると、本ツールのヘルプを表示することができます。詳しくは、**V章 5 節 ヘルプ表示**を参照してください。



## 5-2 部課別ご利用料金

左フレームで部課を選択すると、右フレーム上部に部課別ご利用料金表が表示されます。

選択した部課に所属する部課・回線別にご利用料金を集計し、該当する請求年月の欄に表示します。

なお、ご利用料金欄は番号別明細（ダイヤルイン追加番号別明細を含む）を読込んでいる場合にのみ表示します。

ダイヤル通話明細のみを読込んでいる場合には表示せず、グレー表示になります。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
未所属			29,057,627	29,057,627
その他の部課・回線				

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
NTT地域会社			29,057,627	29,057,627
電話			29,057,627	29,057,627
回線使用料			17,309,684	17,309,684
通話・通信料			2,206,749	2,206,749
携帯電話等へのご利用分			194,270	194,270
P H S へのご利用分			21,310	21,310
契約料				
工事料			146,033	146,033
電報料			1,393,200	1,393,200
番号案内料			66,180	66,180
お買い上商品代金			61,000	61,000
他事業料				
NTT利用通話・通信料			464,262	464,262
NTT利用その他			27,045	27,045
その他			5,796,157	5,796,157

選択した部課のご利用料金が表示します。

選択している部課に所属する部課名・回線番号は下線付きの青文字で表示します。

これをクリックすると該当する部課・回線の請求情報が表示します。

このとき、左フレームの階層構造の表示は変化しません。

### 部課別ご利用料金

請求年月
合計
<u>営業部</u>
<u>経理部</u>
<u>総務部</u>
<u>未所属</u>
その他の部課・回線

クリックすると該当する部課・回線の請求情報が表示されます。

## (1) 部課・回線のご利用料金欄

左フレームで選択した部課に所属する部課・回線別に、該当する請求年月の欄にご利用料金が表示されます。

初期表示では登録データ内の最新3ヶ月が表示されますが、リボンメニューにある「表示データの選択」プルダウンメニューで表示期間を変更すると、指定した年度の部課別ご利用料金を表示します。

### <最新3ヶ月の場合>

データベースに登録されている請求データより、最新の請求年月から2ヶ月前までの3ヶ月分、部課別ご利用料金を表示します。

例：2002年8月が最新の請求データの場合

#### 部課別ご利用料金

請求年月	2002.06	2002.07	2002.08	総合計
合計		1,587,005	2,100	1,589,105
関西				0
関東				0
未所属		1,587,005	2,100	1,589,105
その他の部課・回線		0	0	0

### <年度表示の場合>

選択した年度の12ヶ月分のご利用料金を表示します。

例：2002年度を選択した場合

#### 会社別ご利用料金

請求年月	2002.04	2002.05	2002.06	2002.07	2002.08	2002.09	2002.10	2002.11	2002.12	2003.01	2003.02	2003.03	総合計
合計				1,587,005	2,100								1,589,105
▶ NTT地域会社				0	0								0
▶ NTTコミュニケーションズ				1,587,005	2,100								1,589,105
▶ NTTドコモ				0	0								0

## (2) 合計欄

各請求年月の合計欄には、左フレームで選択されている部課に所属する部課・回線の月別ご利用料金の合計を表示します。

#### 部課別ご利用料金

請求年月	2002.06	2002.07	2002.08	総合計
合計		1,587,005	2,100	1,589,105
関西				0
関東				0
未所属		1,587,005	2,100	1,589,105
その他の部課・回線		0	0	0

## (3) 総合計欄

総合計欄には、表示期間中の部課・回線別のご利用料金、および合計欄の合計ご利用料金を表示します。

#### 部課別ご利用料金

請求年月	2002.06	2002.07	2002.08	総合計
合計		1,587,005	2,100	1,589,105
関西				0
関東				0
未所属		1,587,005	2,100	1,589,105
その他の部課・回線		0	0	0

#### (4) その他の部課・回線欄

左フレームで選択した部課に、現在月には所属していないが過去月には所属する部課・回線があり、現在月の部課構成では表示できない場合、その他の部課・回線欄に表示されます。

**IV章 2 節 部課名・利用用途情報の設定**において、他の部課へ移動、または削除した部課・回線が表示されることとなります。

その他の部課・回線欄の現在月には必ず 0 が表示され、所属していた過去月に、その月のご利用料金が表示されます。

#### 部課別ご利用料金

請求年月	2002.04	2002.05	2002.06	2002.07	2002.08	2002.09
合計			126,059	1,672,333	2,100	
未所属			126,059	1,672,333	2,100	
その他の部課・回線			0	0	2,100	
営業部						
総務部						

#### 【特記事項】

##### (1) グレー表示について

部課・回線のご利用料金欄にデータが存在しない場合、グレー表示になります。

また、該当する請求年月の請求データ（または番号別明細）が読み込まれていない場合も同様にグレー表示になります。

また、部課については、配下に所属する部課および回線の請求データ（または番号別明細）が存在しない場合、上記のようなグレー表示になります。

##### (2) 括弧付き金額について

ダイヤルイン追加番号の場合、ご利用料金が括弧付きで表示されます。

詳細は **5-7 節 ダイヤルインサービス利用時の表示**を参照してください。

### 5-3 会社別ご利用料金

左フレームで部課を選択すると、「部課別ご利用料金表」の下に「会社別ご利用料金表」が表示されます。

「会社別ご利用料金表」は左フレームで選択した部課に所属する部課および回線のご利用料金を集計し、請求会社別に分類、表示します。

なお、ご利用料金は「各種データ読み込み画面」で番号別明細を読み込んでいる場合に表示されます。

「ダイヤルイン追加番号別明細」、「ダイヤル通話明細」以外の請求データを読み込んでいない場合は「会社別ご利用料金」は表示されず、グレー表示になります。

部課別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
未所属			29,057,627	29,057,627
その他の部課・回線				

会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
NTT地域会社			29,057,627	29,057,627
電話			29,057,627	29,057,627
回線使用料			17,309,684	17,309,684
通話・通信料			2,206,749	2,206,749
携帯電話等へのご利用分			194,270	194,270
P H S へのご利用分			21,310	21,310
契約料				
工事料			146,033	146,033
電報料			1,393,200	1,393,200
番号案内料			66,180	66,180
お買い上商品代金			61,000	61,000
他事業者料金				
NTTご利用通話・通信料			464,262	464,262
NTTご利用その他			27,045	27,045
その他			5,796,157	5,796,157

左フレームで選択した部課の請求会社別ご利用料金が表示されます。

#### (1) 請求会社

左フレームで選択した部課に所属する部課・回線のご利用料金を請求会社別に分類して階層表示します。

NTT 東日本・NTT 西日本からの請求は「NTT 地域会社」へ、

NTT コミュニケーションズからの請求は「NTT コミュニケーションズ」へ、

NTT ドコモからの請求は「NTT ドコモ」へ分類されます。

会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			1,218,986	1,218,986
NTT地域会社			1,218,986	1,218,986
NTTコミュニケーションズ			0	0
NTTドコモ			0	0

選択した回線のご利用料金内訳を請求会社別に集計します。  
※「▲」または「▼」をクリックすると、詳細な内訳の表示、非表示が切り替わります。

#### (2) 請求の内訳

各請求会社名の左側にある「▲」をクリックすると、該当する請求会社の請求内訳とご利用料金が階層表示します。

階層表示では、内訳を持つ明細がある場合、明細の左側に「▲」を表示します。これをクリックするとその配下にある内訳の明細を表示します。明細表示されている場合、先ほどの「▲」は「▼」と変更し、明細表示されていることを表します。「▼」を再度クリックすると表示されていた明細は閉じられます。

なお、各内訳への割り振りは、**Ⅲ章 3節 コード表の新規読込**において読込した請求内訳分類コードに従います。

#### 会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
▲ 合計			1,218,986	1,218,986
▶ NTT地域会社			1,218,986	1,218,986
▲ 電話			1,218,986	1,218,986
回線使用料			457,000	457,000
通話・通信料			105,748	105,748
携帯電話等へのご利用分			30,130	30,130
PHSへのご利用分			450	450
契約料			0	0

### (3) 合計欄

各請求年月の合計欄には、左フレームで選択した部課に所属する部課・回線の月別の合計ご利用料金を表示します。

この合計ご利用料金は、各内訳の合計額に等しくなります。

#### 会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
▲ 合計			1,218,986	1,218,986
▶ NTT地域会社			1,218,986	1,218,986
▶ NTTコミュニケーションズ			0	0
▶ NTTドコモ			0	0

### (4) 総合計欄

総合計欄には、表示期間中の各内訳、および合計欄の合計ご利用料金を表示します。

このため、複数の請求年月の請求データを読込んでいる場合には、右フレーム上部のプルダウンメニューで選択した表示期間によって表示が変化します。

#### 会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
▲ 合計			1,218,986	1,218,986
▶ NTT地域会社			1,218,986	1,218,986
▶ NTTコミュニケーションズ			0	0
▶ NTTドコモ			0	0

### 【特記事項】

#### <グレー表示について>

選択されている部課に所属する全ての部課・回線の請求データ（番号別明細）が読込まれていない場合、ご利用料金欄がグレー表示になります。

## 5-4 回線別ご利用料金

左フレームで回線を選択すると、右フレーム上部に「回線別ご利用料金表」を表示します。

「回線別ご利用料金表」には左フレームで選択した回線のご利用料金を集計し、該当する請求年月の欄に表示します。

なお、ご利用料金は「各種データ読み込み画面」で番号別明細（ダイヤルイン追加番号別明細を含む）を読み込んでいる場合に表示します。

「ダイヤルイン追加番号別明細」、「ダイヤル通話明細」以外の請求データを読み込んでいない場合は「回線別ご利用料金」は表示せず、グレー表示になります。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	合計
合計			2,523	2,523

ご利用料金内訳

請求年月	税区分	2013.07
NTT地域会社		2,523
NTT東日本ご利用分		2,523
回線使用料(基本料)	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	-100
ユニバーサルサービス料	合算	3
消費税相当額	消費税相当額(合算)	120

通話明細内訳

- NTT地域会社
- NTTコミュニケーションズ
- NTTFCF

「回線別ご利用料金表」の請求年月には下線が引かれており、これをクリックすると該当する請求年月の「ご利用料金内訳表」、および「通話明細内訳表」が表示されます。

「ご利用料金内訳表」についてはIV章 5-5 節 **ご利用料金内訳**を、「通話明細内訳表」についてはIV章 5-6 節 **通話明細内訳**を参照してください。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	合計
合計			2,523	2,523

クリックすると該当する年月の請求情報が表示されます。

複数の請求年月の請求データを読み込んでいる場合には、右フレーム上部のプルダウンメニューで選択した表示期間によって表示が変化します。

### <最新 3 ヶ月の場合>

データベースに登録されている請求データより、最新の請求年月から 2 ヶ月前までの 3 ヶ月分、回線別ご利用料金を表示します。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			2,523	2,523

選択した回線のご利用料金の合計が月別に表示されます。

3ヶ月の合計が表示されます。

### <年度表示の場合>

選択した年度の 12 ヶ月分、回線別ご利用料金が表示されます。

回線別ご利用料金

請求年月	2013.04	2013.05	2013.06	2013.07	2013.08	2013.09	2013.10	2013.11	2013.12	2014.01	2014.02	2014.03	総合計
合計						2,523							2,523

選択した回線のご利用料金の合計が表示されます

12ヶ月の合計が表示されます。

### 【特記事項】

#### (1) グレー表示について

選択されている回線の請求データ（番号別明細）が読み込まれていない場合にグレー表示になります。

#### (2) 括弧付き金額について

ダイヤルイン追加番号の場合、ご利用料金が括弧付きで表示されます。

詳細は 5-7 節 **ダイヤルインサービス利用時の表示**を参照してください。

## 5-5 ご利用料金内訳

左フレームで回線を選択すると、回線別ご利用料金表の下にご利用料金内訳表が表示されます。

選択した回線のご利用料金を集計し、内訳別に分類します。

なお、ご利用料金内訳表は番号別明細（ダイヤルイン追加番号別明細を含む）を読み込んでいる場合にのみ表示されます。

ダイヤル通話明細以外の請求データを読み込んでいない場合にはデータは表示されません。

回線別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			2,622	2,622

ご利用料金内訳

請求年月	税区分	2013.09
▲ NTT地域会社		2,622
▲ 【NTT東日本ご利用分】		2,591
回線使用料（基本料）	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	-100
屋内配線使用料	合算	60
ダイヤル通話料	合算	8
(内訳) エリアプラス適用分	合算	(3)
消費税相当額	消費税相当額 (合算)	123
▶ 【NTTコミュニケーションズご利用分】		31
ダイヤル通話料	合算	30
消費税相当額	消費税相当額 (合算)	1

通話明細内訳

- ▼ NTT地域会社
- ▼ NTTコミュニケーションズ
- ▼ NTTドコモ

### (1) 請求会社欄

左フレームで選択した回線のご利用料金内訳を、請求会社別に集計します。

NTT 東日本・NTT 西日本からの請求は「NTT 地域会社」へ、

NTT コミュニケーションズからの請求は「NTT コミュニケーションズ」へ、

NTT ドコモからの請求は「NTT ドコモ」へ分類されます。

各請求会社のご利用料金欄には、それぞれの請求会社の内訳に表示される【】付きご利用会社のご利用料金が集計されます。

ご利用料金内訳

利用用途：

請求年月	税区分	2013.09
▲ NTT地域会社		2,622
▲ 【NTT東日本ご利用分】		2,591
回線使用料（基本料）	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	-100
屋内配線使用料	合算	60
ダイヤル通話料	合算	8
(内訳) エリアプラス適用分	合算	(3)
消費税相当額	消費税相当額 (合算)	123
▶ 【NTTコミュニケーションズご利用分】		31

選択した回線のご利用料金内訳請求会社別に集計します。  
※▲▼をクリックすると、詳細な内訳の表示、非表示は切り替わります。

(2) 【】付きご利用会社欄

ご利用会社名は【】付きで表示されます。各【】付きご利用会社のご利用料金欄には、それぞれの【】付きご利用会社の内訳に表示されるご利用料金欄の合計額が集計されます。なお、【】付きご利用会社名の左側に表示されている「▼」をクリックすると、展開された内訳が閉じられます。

ご利用料金内訳

利用用途：

請求年月	税区分	2013.09
▶ NTT地域会社		2,622
▶ 【NTT東日本ご利用分】		2,591
回線使用料（基本料）	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	
屋内配線使用料	合算	
ダイヤル通話料 （内訳）エリアプラス適用分	合算	(3)
消費税相当額	消費税相当額（合算）	123
▶ 【NTTコミュニケーションズご利用分】		31
ダイヤル通話料	合算	30
消費税相当額	消費税相当額（合算）	1

▲▼付き会社は、通話先によって異なるご利用料金を表示します。

【特記事項】

(1) 内訳名の先頭に（内訳）や<内訳>が表示される場合

内訳によってはさらに詳細な内訳が存在する場合があります。

詳細な内訳が存在する行には、該当する請求内訳名の先頭に（内訳）が表示されます。

さらに詳細な内訳まで存在する場合には、<内訳>が表示されます。

（内訳）、<内訳>が先頭に表示される請求内訳名の金額は括弧付きで表示されます。

【】付きご利用会社、請求会社のご利用料金欄には、これら括弧付きの金額は集計されません。

ご利用料金内訳

利用用途：

請求年月	税区分	2013.09
▶ NTT地域会社		2,622
▶ 【NTT東日本ご利用分】		2,591
回線使用料（基本料）	合算	2,500
一括請求基本料割引	合算	-100
屋内配線使用料	合算	60
ダイヤル通話料	合算	8
（内訳）エリアプラス適用分	合算	(3)
消費税相当額	消費税相当額（合算）	123
▶ 【NTTコミュニケーションズご利用分】		31
ダイヤル通話料	合算	30
消費税相当額	消費税相当額（合算）	1

**(2) 括弧付き金額について**

ダイヤルイン追加番号の場合、全ての利用内訳のご利用料金が括弧付きで表示されます。詳細は **5-7 節 ダイヤルインサービス利用時の表示**を参照してください。

## 5-6 通話明細内訳

左フレームで回線を選択すると、ご利用料金内訳表の下に通話明細内訳表が表示されます。通話明細内訳表は請求会社別に分類されています。各請求会社名の左側にある「▲」をクリックすると、該当する請求会社の通話明細が表示されます。

なお、通話明細内訳表はダイヤル通話明細を読み込んでいる場合にのみ表示されます。番号別明細のみを読み込んでいる場合には表自体が表示されません。

会社別ご利用料金

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
▲ 合計			29,057,627	29,057,627
▶ NTT地域会社			29,057,627	29,057,627
▶ NTTコミュニケーションズ				
▶ NTTドコモ				

通話明細内訳 2013年 09月

通話月日	通話開始時刻	通話先番号	通話先地域	通話時間	通話料金
2013.07.26	9:03:27	34300828		000:00:21	8.5
2013.07.26	9:04:08	39800162		000:00:48	8.5
2013.07.26	9:05:52	0330000138	東京	000:03:04	17.0
2013.07.26	9:07:54	0350000140	東京	000:00:58	8.5
2013.07.26	9:08:36	35101337		000:00:29	8.5
2013.07.26	9:08:56	32600142		000:01:01	8.5
2013.07.26	9:09:29	0330000324	東京	000:01:16	8.5
2013.07.26	9:11:30	55500186		000:01:02	8.5
2013.07.26	9:12:39	32800276		000:00:34	8.5
2013.07.26	9:12:44	0360000149	東京	000:00:53	8.5
2013.07.26	9:12:47	0350000143	東京	000:00:19	8.5
2013.07.26	9:14:52	64001148		000:00:41	8.5

選択した回線のご利用料金内訳が表示されます。

選択した回線の通話明細として、通話月日、通話開始時刻、通話先番号、通話先地域、通話時間、通話料金が表示されます。これらの項目には下線が引かれており、クリックすると表示順を昇順・降順に並び替えることができます。一度クリックすると、クリックした項目名の左側に「▲」が表示されて昇順に並び替えられ、もう一度クリックすると「▼」が表示されて降順に並び替えられます。

通話明細内訳 2013年 09月

▲ NTT地域会社

通話月日	通話開始時刻	通話先番号	通話先地域	通話時間	通話料金
2013.07.26	9:03:27	34300828		000:00:21	8.5
2013.07.26	9:04:08	39800162		000:00:48	8.5
2013.07.26	9:05:52	0330000138	東京	000:03:04	17.0

▲・▼をクリックすると、各請求会社の通話明細内訳の表示・非表示が切り替わります。

各項目名をクリックすることにより、表示順をへんこうすることができます。▲が表示されている場合は昇順に、▼が表示されている場合は降順に表示されています。

## 5-7 ダイアルインサービス利用時の表示

INS ネットでダイアルインサービスの契約している場合、通常の契約者回線番号とは別に複数の番号(これらをダイアルイン追加番号と呼びます)が存在します。NTT 東日本等からの請求は契約者回線番号での請求となるため、各ダイアルイン追加番号のご利用料金は請求書上からは把握することができません。しかし本ツールでは、各ダイアルイン追加番号のご利用料金を、契約者回線番号のダイアル通話明細データを基に算出し、概算として表示します。また、ダイアルイン追加番号別明細を読込んだ場合も同様に概算として表示します。

ダイアルイン追加番号のご利用料金は概算額であるため、総請求画面において契約者回線番号と区別できるように、ご利用料金を括弧付きで表示します。総請求画面の各表の表示は次の通りです。

### (1) 部課別ご利用料金

各ダイアルイン追加番号のご利用料金は括弧付きで表示されます。また、ダイアルイン追加番号のご利用料金は概算額であるため、合計欄には集計されません。契約者回線番号のご利用料金のみが集計されます。

		部課別ご利用料金				
		請求年月	2013.09	2013.10	2013.11	総合計
合計			11,862		293,210	305,072
契約者回線番号	0290		4,549			4,549
	0330		(955)			(955)
ダイアルイン追加番号	0330		(3,979)			(3,979)
	0330		(7,748)			(7,748)
	0330		(1,491)			(1,491)
	0960		3,709			3,709

契約者回線番号のご利用料金のみが合計欄に表示されます。

ダイアルイン追加番号のご利用料金は括弧付きで表示されます。

### (2) 会社別ご利用料金

ダイアルイン追加番号のご利用料金は概算額であるため、会社別ご利用料金には集計されません。契約者回線番号のご利用料金のみが集計されます。

### (3) 回線別ご利用料金

ダイアルイン追加番号の場合は、ご利用料金が括弧付きで表示されます。

#### 回線別ご利用料金

	請求年月	2013.09	2013.10	2013.11	総合計
合計		(955)			(955)

#### (4) ご利用料金内訳

ダイヤルイン追加番号の場合は、全ての利用内訳のご利用料金が括弧付きで表示されます。

##### ご利用料金内訳

利用用途：

請求年月	税区分	2013.09
▲NTT地域会社		(955)
▲【NTT東日本ご利用分】		(955)
電報料	(15)	(910)
消費税相当額	(15)	(45)

通話・通信料金の概算額が表示されます。

契約者回線番号のダイヤル通話明細を基に算出された概算のご利用料金内訳は次の3つです。

利用内訳名称	説明
ダイヤルQ情報料（概算）	ダイヤルQ情報ご利用料金の概算
携帯電話等へのINS通話・通信料等（概算）	NTT東日本・NTT西日本が提供する固定電話発・携帯電話着0036/0039通話サービスご利用料金の概算
INS通話・通信料等（概算）	上記「ダイヤルQ情報料」と「携帯電話等へのINS通話・通信料等」以外の全てのINS通話・通信料等の概算

#### (5) 通話明細内訳

ダイヤルイン追加番号の場合、契約者回線番号の通話明細のうち、該当のダイヤルイン追加番号から発信した通話明細のみが表示されます。この通話明細が概算のご利用料金を算出する際の基となっています。

## 6. 部課・回線情報の検索

読んでいる請求データの中から、**IV章 2 節 部課名・利用用途情報の設定**で設定した部課、および回線番号の検索することができます。

左フレーム上部にある「検索」タブをクリックすると、左フレームが検索画面に切り替わります。

検索画面

検索結果の請求情報が表示されます。

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
本所属			29,057,627	29,057,627
その他の部課・回線				

請求年月	2013.07	2013.08	2013.09	総合計
合計			29,057,627	29,057,627
▶ NTT地域会社			29,057,627	29,057,627
▶ NTTコミュニケーションズ				
▶ NTTドコモ				

通話月日	通話開始時刻	通話先番号	通話先地域	通話時間	通話料金
2013.08.06	9:59:03	035	東京	000:00:01	8.5
2013.08.20	9:59:01	58		000:00:32	8.5
2013.08.06	9:58:53	035	東京	000:07:26	25.5
2013.08.19	9:58:46	033	東京	000:00:27	8.5
2013.08.22	9:58:31	033	東京	000:00:30	8.5
2013.08.05	9:58:31	58		000:01:19	8.5
2013.07.31	9:58:26	33		000:05:33	17.0
2013.08.16	9:58:22	58		000:03:18	17.0

### (1) 部課名、もしくは回線番号を指定して検索する場合

- ① 検索したい部課名または回線番号を、部課名欄、回線番号欄に入力します。

入力する部課名・回線番号の先頭、もしくは末尾は「\*」を付けたワイルドカード文字による検索することができます。

この「\*」は、「どのような名称・番号も検索対象とする」ということを意味します。

例えば、「経理部」「経理課」「総務部」という部課が設定されている場合、「経理\*」と入力して検索すると、「経理部」「経理課」の2つの部課が検索結果としてヒットします。

また、XXXXXX45678、XXXXXX46789、XXXXXX05678 という回線番号を含む請求データが読込まれている場合に、「\*5678」と入力して検索すると、XXXXXX45678、XXXXXX05678 の2つの回線番号がヒットします。

ただし、「\*」は先頭または末尾いずれか1つしか入力できません。

つまり、「\*経\*」というような条件は利用できません。

全ての部課名を検索したい場合は部課名に「\*」、全ての回線番号を検索したい場合は、回線番号に「\*」を入力して検索します。

② 検索期間を指定します。

検索期間のプルダウンには、データベース上に読み込まれている請求データの期間設定されています。

初期表示では最もデータベース上にあるもっとも古い年月から最新の年月が表示されていますが、希望の期間に検索範囲を変更することができます。

③ 検索対象となる部課名・回線番号の設定と検索期間を指定した後、「検索開始」ボタンをクリックします。

部課名  
経理部

回線番号

期間  
2001.07 ~ 2013.09

検索開始 検索中止

部課名、回線番号を指定します。

検索期間を指定します。

検索開始ボタンを押します。

④ データベース上の請求データより検索条件と一致する請求データを見つけると「検索開始」ボタンの下に検索結果を表示します。

⑤ 左フレームに表示された検索結果の中から希望のものをクリックすると、該当する1ヶ月分の請求情報が右フレームに表示されます。

それぞれの表の見方は、**IV章 5-2 節 部課別ご利用料金**、**5-3 節 会社別ご利用料金**を参照してください。

検索

部課名

回線番号  
047000

期間  
2012.01 ~ 2013.11

検索開始 検索中止

2013.11

2013.07  
全回線情報>本部課>04700

2012.01  
全回線情報>本部課>04700

選択した検索結果の請求情報が表示されます。

回線別ご利用料金

請求年月	2013.11
合計	7,305

ご利用料金内訳

請求年月	税区分	2013.11
NTTコミュニケーションズ		7,305
NTT[3]はかりご利用分		7,305
ビジネス割引 割引額	合算	-410
ビジネス割引 携帯等割引額	合算	-505
フリーダイヤル・基本サービス	合算	2,000
ユニバーサルサービス料	合算	3
フリーダイヤル通話料	合算	5,870
消費税相当額	消費税相当額(合算)	347

通話明細内訳

- NTT地域会社
- NTTコミュニケーションズ
- NTTドコモ

検索条件に見合う請求情報が表示されます。

## (2) 部課名と回線番号の両方を指定して検索する場合

部課名と回線番号の両方を指定して検索することもできます。

この場合、検索したい部課名と回線番号をそれぞれ部課名欄、回線番号欄に入力します。

以降の手順は(1)と同様です。

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- Buttons at the top: 部課別表示 (Department/Section-wise display) and 検索 (Search).
- Search icon and the word 検索 (Search).
- Input field for 部課名 (Department/Section name), which is empty.
- Input field for 回線番号 (Line number) containing "04\*".
- Period (期間) selection: 2012.01 ~ 2013.11.
- Buttons: 検索開始 (Start search) and 検索中止 (Stop search).
- Search results list:
  - 2013.11 全回線情報>未所属>04600
  - 2013.11 全回線情報>未所属>04700
  - 2013.11 全回線情報>未所属>04800
  - 2013.07 全回線情報>未所属>04600
  - 2013.07 全回線情報>未所属>04700

検索結果として表示されるのは、指定した部課名と回線番号の両方の条件を満たす請求情報です。

どちらか一方のみを満たす請求情報は表示されません。

検索条件と検索結果の例は以下の通りです。

### <検索条件>

- ・ 部課名 : 経理\*
- ・ 回線番号 : 090\*

### <検索結果>

- ・ 全回線>経理課>090XXXXXXXX
- ・ 全回線>経理課>開発 1 担当部>090XXXXXXXX
- ・ 全回線>総務課>経理担当庶務>090XXXXXXXX



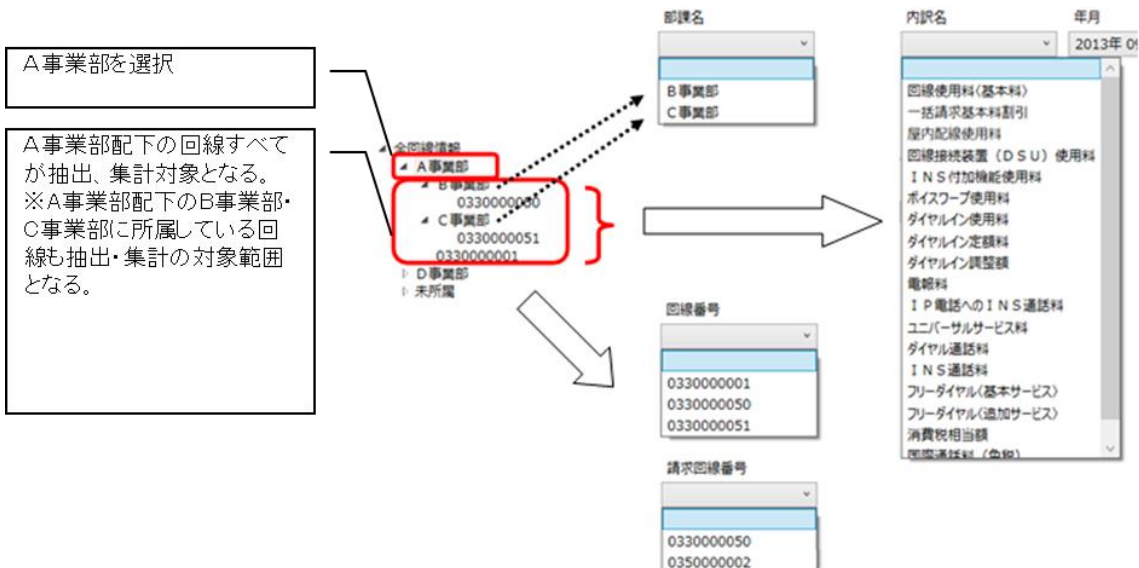
## 7-1 抽出条件指定方法

内訳別集計金額の絞り込み条件(抽出条件)として、部課名、回線番号、請求回線番号、内訳名の4項目を指定することができます。

これらの抽出条件のプルダウンリストに表示される情報は以下の通りです。

部課選択時	部課名	総請求画面で選択している部課直下に所属する全ての部課名
	回線番号	総請求画面で選択している部課配下に所属する全ての回線番号
	請求回線番号	上記「回線番号」に対して割り当てられている全ての請求回線番号
	内訳名	上記「回線番号」に含まれる全ての請求内訳名
回線選択時	部課名	総請求画面で選択している回線が所属する直上の部課名
	回線番号	総請求画面で選択している回線番号
	請求回線番号	上記「回線番号」に対して割り当てられている請求回線番号
	内訳名	上記「回線番号」に含まれる全ての請求内訳名

例えば下記の部課・回線階層構造において、「A 事業部」選択時の内訳別集計表示画面における各抽出条件のプルダウンリストに表示される情報は以下のようになります。



回線番号選択時の内訳別表示画面の抽出・集計対象は、その選択されている回線番号自身のみとなります。

また、プルダウンリストでスペースを選択した状態で抽出処理をすると、そのプルダウンリストに表示されている全情報が抽出条件となります。年月選択プルダウンリストには、総請求画面の表示期間と合致する年月が表示され、必ず何れかの年月を選択する必要があります。上記全ての条件を指定した後に、画面上部にある「抽出」ボタンを押下することで、所望の抽出処理をすることができます。

## 7-2 集計画面

内訳別集計結果として表示される項目は部課名、回線番号、請求回線番号、請求会社、利用会社、内訳名、税区分、内訳金額、および内訳金額の合計額です。表示画面は以下のようになります。

集計結果をExcel出力および印刷することが可能です。

条件に見合う請求情報が表示されます。

税区分には、請求データの請求内訳名が表示されます。

抽出された内訳金額の合計額が表示されます。

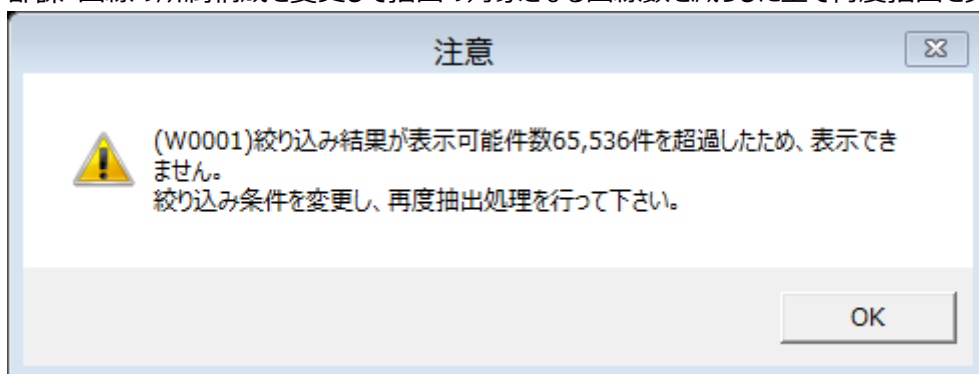
部課名	回線番号	請求回線番号	請求会社	利用会社	内訳名	税区分	内訳金額
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	回線使用料(基本料)	合算	2,400
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	番号案内料	合算	60
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	(内訳) 昼間・夜間ご利用	合算	60
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	ユニバーサルサービス料	合算	3
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	消費税相当額	消費税相当額(合算)	123
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	回線使用料(基本料)	合算	2,400
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	一括請求基本料割引	合算	-100
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	ユニバーサルサービス料	合算	3
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	消費税相当額	消費税相当額(合算)	115
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	回線使用料(基本料)	合算	2,400
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	一括請求基本料割引	合算	-100
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	ユニバーサルサービス料	合算	3
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	消費税相当額	消費税相当額(合算)	115
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	回線使用料(基本料)	合算	2,400
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	一括請求基本料割引	合算	-100
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	ユニバーサルサービス料	合算	3
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	消費税相当額	消費税相当額(合算)	115
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	回線使用料(基本料)	合算	2,400
営業二課	0170C	0000	NTT地域会社	NTT東日本	一括請求基本料割引	合算	-100
内訳金額合計							2,965,379

部課名は、それぞれの回線番号が所属する直上の部課名が表示されます。このため、抽出条件の部課名プルダウンリストに表示されている部課名と異なる部課名が表示されることがあります。

### 【特記事項】

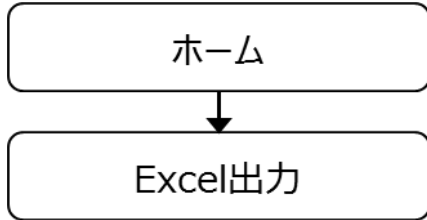
#### ＜抽出件数の限界＞

抽出可能件数は 65,536 件です。抽出の結果、集計すべき内訳の件数が 65,536 件を超過する場合、以下のような警告メッセージが表示されます。この場合には、抽出条件を変更して再度抽出を実行するか、部課・回線の所属構成を変更して抽出の対象となる回線数を減らした上で再度抽出を実行してください。



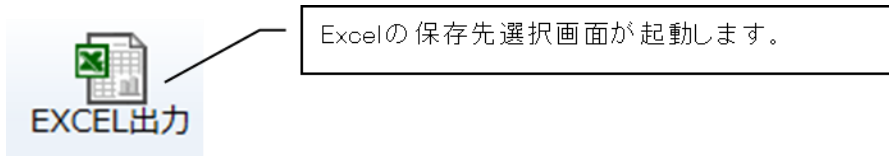
## 8. 請求データの Excel 出力

総請求画面の部課別ご利用料金表等の各表は Excel に出力することができます。

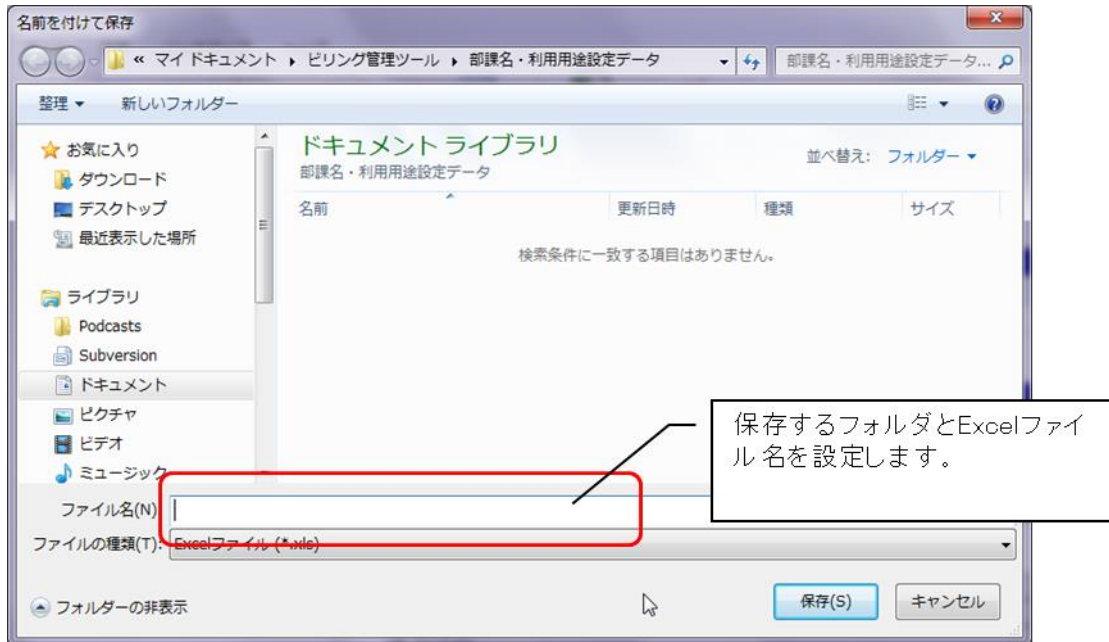


① 総請求画面の左フレームで Excel 出力したい部課・回線を選択します。

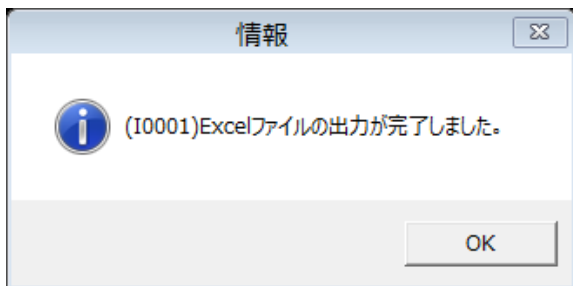
② 総請求画面のメニューから[ホーム]→[Excel 出力]リボンをクリックします。



③ 出力する Excel ファイルの保存先、ファイル名を入力します。

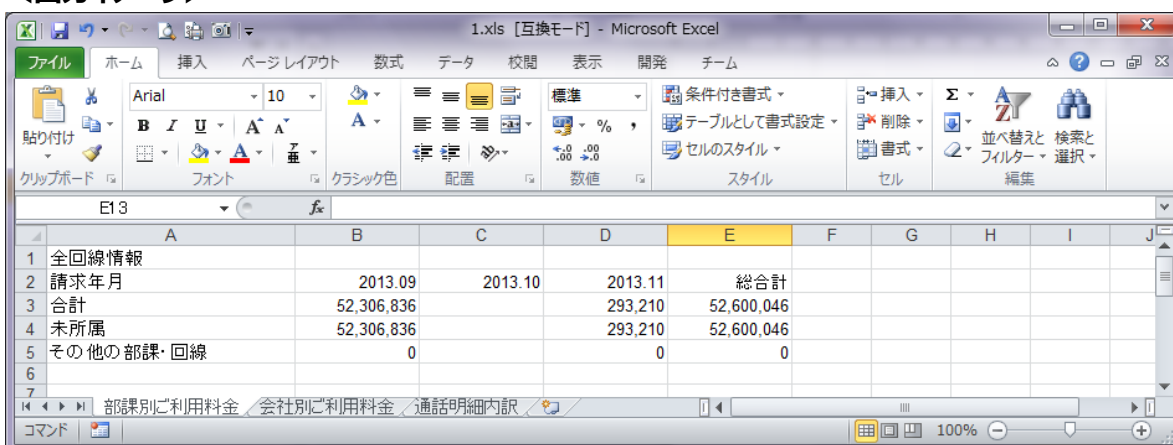


④ 処理が開始すると「処理中」表示となります。出力が終わると下記のようなメッセージが表示されます。



※表示中のデータが多い場合には、出力に時間がかかる場合があります。

### <出カイメージ>



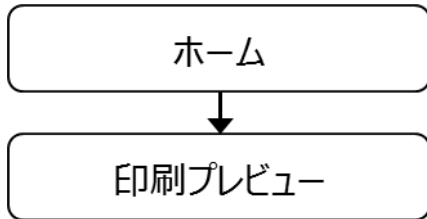
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	全回線情報									
2	請求年月	2013.09	2013.10	2013.11	総合計					
3	合計	52,306,836		293,210	52,600,046					
4	未所属	52,306,836		293,210	52,600,046					
5	その他の部課・回線	0		0	0					
6										
7										

「部課別ご利用料金表」、「ご利用料金内訳表」、「通話明細内訳表」の各表は、階層表示されているため、「▲」が表示されて詳細が閉じられている場合がありますが、Excel 出力では、閉じられている明細部分も展開された状態が出力されます。

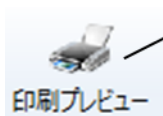
また、既に Excel が起動している状態で Excel 出力すると、新たなブックに書き出されます。

## 9. 請求データの印刷

総請求画面の部課別ご利用料金等の各表は印刷することができます。



- ① 総請求画面の左フレームで印刷出力したい部課・回線を選択します。
- ② 総請求画面の右フレーム上部にある「印刷プレビュー」リボンをクリックします。



印刷プレビュー画面を表示します。

- ③ 印刷プレビュー画面が起動します。

印刷枚数等を確認の上、プレビュー画面上部にあるプリンタアイコンをクリックします。

印刷プレビュー

2014/02/23 13:23:06

全回線情報

部課別ご利用料金

請求年月	2011.04	2011.05	2011.06	2011.07	2011.08	2011.09	2011.10	2011.11	2011.12	2012.01	2012.02	2012.03	総合計
合計					18,028,274								18,028,274
追加部課													0
未所属					18,028,274								18,028,274
その他の部課・回線					0								0

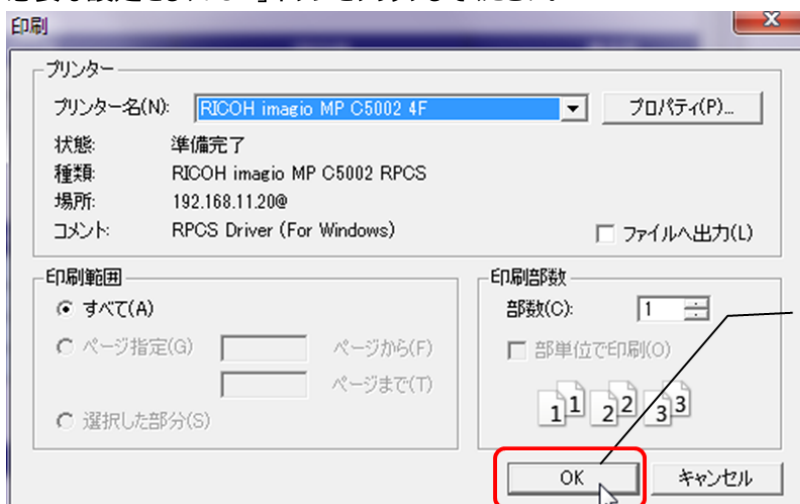
会社別ご利用料金

請求年月	2011.04	2011.05	2011.06	2011.07	2011.08	2011.09	2011.10	2011.11	2011.12	2012.01	2012.02	2012.03	総合計
一合計					18,028,274								18,028,274
一NTT地域会社					18,028,274								18,028,274
一電話					18,028,274								18,028,274
回線使用料					17,103,150								17,103,150
通話・通信料					5,303								5,303
携帯電話等へのご利用分					12,350								12,350
PHSへのご利用分					100								100
契約料					0								0
工事料					0								0
電報料					0								0
寄附金					0								0
内料					0								0
お支払い商品代金					0								0

1 / 2

検索する文字列の入力...

- ④ 印刷用ダイアログボックスが起動します。  
必要な設定をし、「OK」ボタンをクリックしてください。



会社別ご利用料金表、ご利用料金内訳表、通話明細内訳表の各表は、階層表示されているため、「▲」が表示されて詳細が閉じられている場合があります。

印刷プレビューではこれらの部分は展開されず画面表示と同じものが印刷されます。

Excel 出力とは動作が異なりますので、ご注意ください。